



開館20周年記念誌

三重県総合文化センター
開館20周年記念誌

開館20周年記念誌

CONTENTS

- 01 あいさつ
- 02 祝辞
- 04 三重県総合文化センターのこれまでトピックス
- 20 開館20周年記念事業
- 22 三重県文化会館チラシギャラリー
- 43 これまでの事業一覧



三重県知事

鈴木英敬

三重県総合文化センターが平成6年10月に開館して、20周年を迎えることとなりました。開館以来、毎年100万人もの方々にご利用いただいていることに深く感謝するとともに、大変嬉しく思っています。

当センターは、県民の皆さんの文化芸術活動、生涯学習活動、男女共同参画活動の拠点として、様々な事業を実施しています。

県では、本年4月の「三重県総合博物館(MieMu:みえむ)」の開館を機に、県立美術館を含む当センター周辺地域を「文化交流ゾーン」と捉え、全体としての魅力を高めることで、より多くの人々が訪れ、さまざまな文化に接し、感性を高めることができるような場を形成することを目指しています。

また、「みえ県民力ビジョン」において、県民の皆さんが多様な文化にふれ親しみ、文化活動への参加をととして幅広い交流が行われ、自らが活動の主体となることができる環境づくりを進めているところです。

今後も、質の高い音楽、演劇、伝統芸能など様々な分野の文化芸術の提供をはじめ、生涯学習、男女共同参画に関する講座やイベントの実施など、文化交流ゾーンの中核的な施設としての魅力を発揮し、より多くの県民の皆さんに親しんでいただけるよう、さまざまな取組を推進してまいります。

今後とも、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



公益財団法人三重県文化振興事業団 理事長

飯田俊司

平成6年10月に、文化会館、生涯学習センター、男女共同参画センターおよび図書館の複合的な機能を有する三重県総合文化センターが開館し、今年で20周年を迎えました。この間、三重県総合文化センターは「三重県の文化拠点施設」として、三重県と三重県文化振興事業団がその管理運営を担い、毎年100万人を超える方々にご利用いただけてきました。

平成16年10月に三重県総合文化センターに指定管理者制度が導入されてから平成26年度まで、三重県文化振興事業団が三重県総合文化センターの管理運営(図書館運営は除く)を担ってまいりました。この間平成23年7月には公益法人に認定されました。また各部門では、常に一歩先を見据えた事業に取り組み来場者からは高い満足度を得ております。施設利用においても利用者視点の高品質サービスに心がけ80%前後の高い利用率を維持しております。

公益財団法人三重県文化振興事業団としては、この20年目を機に県民が生活の一部に感じる施設、県民が活躍し、輝ける施設、また訪れてみたいと感じる施設として、役職員が一丸となって三重県総合文化センターの管理運営を行ってまいり所存であります。

引き続き皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



新日本フィルハーモニー交響楽団 桂冠名誉指揮者

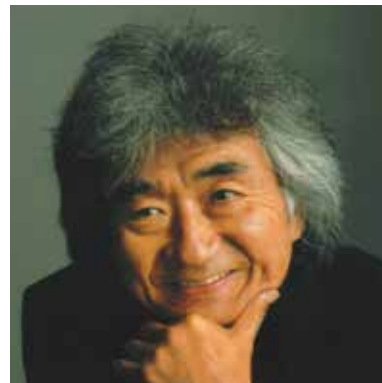
小澤 征 爾

三重県総合文化センター開館20周年おめでとうございます。

開館以来、私の仲間である新日本フィルも準フランチャイズの様な形で毎年呼んでいただいております、むしろ私がお礼を言わなくてはなりません。

その新日本フィルと私の最初の演奏会が、1995年1月17日の阪神淡路大震災の日であったことも忘れることが出来ませんが、このご縁を作っていたのは、1988年10月にその当時、民間人として音楽協会を組織されていた園田幸男さんで、その彼が地方の方にとっては冒険であったであろうマーラー作曲「交響曲第7番」という1曲だけのプログラムを、私がやりたいと言う理由から快く受け入れてくださった事に始まっていると思います。

これからもますます多くの音楽家と良いご縁を築いていただき、聴衆との懸け橋となつてくださることを願ってやみません。



小澤 征 爾

劇団青年団主宰 こまばアゴラ劇場支配人

平田 オリザ

三重県文化会館20周年おめでとうございます。

初期の頃から、公演だけではなく、ワークショップや講演会でも関わらせていただき、会館の成長を見続けてきた者としては感慨無量です。

特に思い出に残っているのは、2007年の『隣にいても一人』の滞在型制作でした。地域でのオーディションを経て、県出身で東京で活動する俳優と、三重県内の俳優さんが対等な立場で、ゆつくり時間をかけて作品を創りました。多くのお客様においでいただき、その後、名古屋、東京公演も実現しました。東京と同じものを創るのではなく、身の丈に合った制作規模で質の高い作品を目指すというスタイルは、その後の会館運営にも大きなヒントを与えられたのではないかと自負しています。

現在、三重県文化会館は、県立劇場の成功例として、全国から大きな注目を集めています。県文の最大の魅力は、館長以下、スタッフ全員のアートに対する情熱です。この美風を生かし、今後も、全国の公立劇場の指標となるような活動を続けてくださることを期待しています。



古典芸能解説者

葛西 聖司

毎夏、津に何う日が、花火大会に重なったり、猛暑や大雨だったり、一喜一憂しながら10年が過ぎました。

全国の講演会では、いつも客席が気になります。退屈かな？書いた文字は見える？資料は配布済み？など。そこで「楽楽歌舞伎塾」では、わたしが歩き回って話せるようレイアウトを「お見合い型」にしてみました。居眠り防止に、お互い見張ってねといえ、皆さん納得。違う資料も、すぐ指摘できます。全員で浄瑠璃原文を読んでから義太夫の語りを聴いてみたり、セリフを朗読して味わったり、あの手この手の参加型セミナーも、すっかり定着。定着どころか全国で「葛西方式」として、津のスタイルが広まってゆきました。

ほかに役者参加のスペシャルイベントや週末に来られない市民のために平日夜の開催など、学習センターの皆さんと相談して、マンネリ防止の工夫もしてきました。それは大歌舞伎のお祭り気分を盛り上げ、プラチナチケットを何倍も楽しんでほしいから。

本音は生演奏をバックに役者錦絵を眼前に「コックリ」するのも贅沢。これぞ「夢のひとつ！」なんて話している「楽楽」講座。モットーはいつも「百聞は一見にしかず」

これからも、どうぞご最真に。



劇作家・演出家／二兎社主宰

永井 愛

20周年、おめでとうございます！

初めてご縁ができたのは、2011年。フレンテみえを通して、二兎社公演36『シングルマザーズ』を文化会館中ホールにお招きいただき、以後、『こんばんは、父さん』『兄帰る』と3年連続で公演の機会に恵まれたことを心より嬉しく思っています。

フレンテみえのように、男女共同参画センターが生涯学習センターや文化会館と共存、連携して多彩なプログラムを展開している例は珍しいのではないのでしょうか。柏木はるみ前所長やメンバーの皆さんの熱心な活動を知ったことは、女性の書き手としての自分の意識を振り返るいい機会になりました。

フレンテみえの活動は、男女を問わず、人間的に生きたいと願う多くの人の心のよりどころとして、今後ますます重要になっていくでしょう。困難な道ではあるでしょうが、フレンテみえが発信してきたメッセージは、公演やトークのお客様の多くに共有されているとも感じました。

あの中庭に立つニキの巨大オブジェのように、陽気にカラフルに進んでください。

いっそうのご発展をお祈り申し上げます。





三重県総合文化センター誕生！

誕生のきっかけは、開館の7年前、1987年(昭和62)にさかのぼります。この年、“文化の国体”といわれる「国民文化祭」を誘致する話が持ち上がりました。当時、会場予定地であった津市丸之内の旧文化会館は老朽化が進み、手狭であったことから、新文化会館の建設運動が起こりました。当時の三重大学学長であった武田進さんらが発起人となり、その先鋒となった署名運動では、たった1か月で7万5千人もの数を集め、その後の県議会では全会一致で建設が可決されました。

建設運動は大きな時代の流れにのり、まさに官民一体となって進められ、形づくられました。

多くの人の熱い想いが詰まった新施設は、常に人で賑わう施設を目指し、音楽ホールだけでなく、図書館、生涯学習、男女共同参画の機能を持った複合施設として設計され、美術館や博物館とともに三重の一大文化ゾーンを担う三重県総合文化センターが誕生したのです。

沿革

昭和62年(1987)	9月	第3回定例県議会「県立文化センター」の建設についての請願採択
平成2年(1990)	2月	新文化会館基本構想策定、生涯学習センター基本構想策定
	3月	新図書館の整備決定(生涯学習センターの図書館部門として)
		三重県婦人総合施設基本構想策定
	6月	「生涯学習情報システム」基本構想策定
	11月	三重県総合文化センター基本設計完了
平成3年(1991)	6月	三重県総合文化センター実施設計完了
	12月	三重県総合文化センター起工式
平成4年(1992)	3月	財団法人三重県文化振興事業団設立
平成6年(1994)	5月	生涯学習棟引渡し
	6月	三重県総合文化センター竣工
	7月	全館引渡し
	10月	三重県総合文化センター開館(7日)

Topics

三重県総合文化センターのこれまで

1994

2013



1994

平成6年度

- 文化会館 震災直後ながら、初めての小澤征爾指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートが実現。全国への発信を目指す「三重県演劇塾」開始。
第46回県展 三重県立美術館から移動して初開催。
新日本フィル演奏クリニック 現在まで続くクリニックが始まる。
「三重の作家たち展」開始。
現在まで続く松竹歌舞伎の初公演が行われる。
- フレンティめ 女性センター開館記念フォーラム開催。以後、現在まで毎年「フォーラム」を開催。
女性フェスティバル 平成11年の第6回まで年に一度開催。
- 全体 開館記念式典、第9回国民文化祭、オープン記念事業が開催され、華やかな幕開けとなる。

華やかな幕開け 多彩なオープニングイベント

三重県の文化振興の拠点として、平成3年から整備を進めてきた三重県総合文化センターが平成6年10月7日にオープンしました。初代総長は、当時NHK解説委員の田畑彦右衛門さんで、センターへの期待に地域が湧きました。

当日は、開館を記念して、田川知事(当時)や岡崎文部政務次官(当時)らによるテープカット、正面エントランスに設置のJ.M.シルベントさん作「人生の風景」の除幕式、名張桔梗丘高等学校吹奏楽部による歓迎演奏、国民文化祭に向けて結成された三重ジュニア管弦楽団の記念演奏会などが華々しく繰り広げられました。

翌8日には、オープニングイベントとして、ロシアの名門、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団の演奏会が大ホールで行われ、以後、スタニスラフ・ブーニンのピアノリサイタルやバレエ、ミュージカル、歌舞伎などの舞台公演や展覧会、アマチュアグループによる発表会など多彩な催しが行われました。また、10月22日から30日まで、“文化の国体”といわれる「第9回国民文化祭」のメイン会場として各種イベントが開催され、9日間で延べ80万人の観客を動員しました。



記念式典



国民文化祭



三重県文化会館

震災後、初めての小澤征爾指揮が実現

開館記念事業の一環として当時来日予定だった「小澤征爾指揮 ポストン交響楽団」の招聘を検討していましたが、日程調整が折り合わず招聘を断念せざるを得ない状況でした。そんな中、小澤さん側から「新日本フィルハーモニー交響楽団とであれば日程がとれるかもしれない」とのご提案をいただき、県民待望のマエストロが初めて三重県文化会館の大ホールでタクトを振る舞台が平成7年1月17日に決まりました。しかしまだドラマは待ち受けていました。なんと公演当日早朝にあの阪神淡路大震災が発生したのです。公演開催が危ぶまれる中、会場に一番乗りしたのは小澤さん、そして団員も続々と到着し、無事初めての「小澤征爾指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団」コンサートが実現したのです。コンサートプログラムはソリストにヴァイオリニスト・竹澤恭子さんを迎え、『ブラームス／ヴァイオリン協奏曲二長調Op.77』と、『ベートーヴェン／交響曲第5番八短調「運命」』が演奏されました。この公演を皮切りにして新日本フィルハーモニー交響楽団の定期公演、隔年での小澤さんの来県、そして新日本フィルハーモニー交響楽団との関西拠点ホール契約へとつながった訳で、文字通り「運命」を予感させる歴史的な始まりでした。



三重県文化会館

全国への発信を目指す「三重県演劇塾」始まる

地元で活動する演劇人の育成とそのネットワークづくり、そして三重県から全国への情報発信を目指して「三重県演劇塾」が立ち上がりました。企画・制作は三重県の演劇関係者から選出された「三重県演劇塾実行委員会」が務め、出演はオーディションで選ばれたアマチュアとプロの俳優が共演しました。第1回目の演目は「決定版 團十郎と音二郎」で、作・演出に岡部耕大氏を迎え、プロの俳優からは「渡る世間は鬼ばかり」で名脇役を務めた岡本信人さんらが出演するという豪華な顔ぶれでした。また、同作は平成7年3月に前進座劇場での東京公演も実現しました。三重県演劇塾は県内演劇関係者のご尽力もあり、その後もほぼ隔年で開催され、平成17年度の三重県演劇塾第7回公演「月下綺譚」をもって終了しました。

<公演記録>

平成7年 2月	三重県演劇塾第1回公演	「決定版 團十郎と音二郎」
平成8年 3月	三重県演劇塾第2回公演	ミュージカル「おかげまいり」
平成9年 5月	三重県演劇塾第3回公演	ミュージカル「おかげまいり」
平成10年 9月	三重県演劇塾第4回公演	ミュージカルタッチ「おかげまいり」
平成14年 2月	三重県演劇塾第5回公演	「今年も散る散る桜の花が…」
平成16年 2月	三重県演劇塾第6回公演	「あじごはん」
平成18年 2月	三重県演劇塾第7回公演	新釈三重の民話 「月下綺譚」



三重県男女共同参画センター

女性センター開館記念フォーラム開催

平成6年「三重県女性センター（当時）」のオープニング企画として開催された『開館記念フォーラム&パネル展』を皮切りに、開館20周年を迎えた現在まで毎年『フォーラム』を連続開催しています。

途中「フレンテフォーラム」「女も男も元気な社会づくりフォーラム」など名称変更を経て、平成16年度からは「男女共同参画フォーラム～みえの男女（ひと）～」に統一。県民・行政・団体など様々な方々が一堂に会し、県内の機運を醸成し各地域の取組を促進するための重要課題の共有と情報交換の場として、年ごとに設定したテーマに基づいたゲストによる講演・対談・鼎談などのホールイベントと、県内各機関や団体によるワークショップを行っています。

ゲストにはこれまで、初回の残間里江子さんを皮切りに神津カンナさん、安藤和津さん、板東久美子さん、赤松良子さん、堂本暁子さん、湯浅誠さん、藻谷浩介さんなどそうそうたる顔ぶれが登場。また県内外の行政・企業・機関からもパネリストとして多くの方々が三重を訪れました。

「フレンテみえ」の“直球事業”である『フォーラム』。これからも皆がいきいきと暮らせる男女共同参画社会づくりのために大切な課題、身近なテーマについて考え交流する場として、様々な企画をお届けしてまいります。



1995

平成7年度

- 文化会館 伝統芸能サミット 初開催。
サタデーサンデーコンサート開始。
- フレンテみえ 「フレンテみえ」相談室を開館と同時に開設。平成7年から本格始動。現在まで活動を継続。
男性へのアプローチも重要視し、「男性セミナー」を初めて開催。以来、毎年様々な内容で展開。

三重県男女共同参画センター

相談室が本格始動。

センター設置に際して実施された婦人総合施設の機能についての調査（昭和63年）で充実を望む機能の第1位となった「相談機能」を開館と同時に開設。翌年の平成7年には専門相談（法律・健康）も始まり、県内の女性相談として充実のスタートをきりました。また、平成13年には全国に先駆けて男性相談も開設。「男女共同参画の視点を持った相談対応と社会発信」を目的として約20年間休むことなく活動しています。

夫婦や家族、仕事や対人関係など多岐にわたる問題に専門相談員が対応していますが、各機関との連携を図りながら自発的な解決に導く手助けをするだけでなく、年間約2,000件に及ぶ相談からニーズを掘り起こし、講座などを起ち上げて様々な課題に対する情報提供、解決へのノウハウ提供も行うことで多面的なサポートを行っています。多様化する相談ニーズに対応するため専門家を招いての研修をはじめとするスキルアップも継続的に実施しており、これまでの実績から、東日本大震災後には被災地の女性相談のため、宮城県へ相談員を派遣しました。

これからもフレンテみえの大きな柱のひとつとして、さらに充実し信頼される「フレンテみえ相談室」を目指して活動を続けていきます。

※「フレンテみえ相談室」の開設時間など詳細は、ホームページでご確認ください。



1996

平成8年度

文化会館 文化会館主催事業に学生席を設置。
世界民族音楽シリーズ始まる。平成19年まで続いた人気シリーズとなる。

生涯学習センター **みえアカデミックセミナーの前身、「三重6大学公開講座」始まる。**

フレンデみえ 「女性センターだより」をリニューアルし、「情報誌Frente」を発行。

全体 子どもを対象としたセンター全体事業を開始。

三重県生涯学習センター

みえアカデミックセミナーの前身、
「三重6大学公開講座」始まる

1996年2月、県内四年制大学学長（当時6大学）と三重県総合文化センターは、三重県内にある全ての大学が有する高度な学びと県民のみなさんをつなぐため、『三重県総合文化センターについて語る会』を発足しました。その中で、「県内の四年制大学の研究活動を紹介するとともに大学への理解を深めてもらい、県総合文化センターの複合施設機能の活用を図る」という合意がなされ、1996年3月には、三重県生涯学習センターが事務局となり、県民のみなさまへの高度な学習機会を提供する目的で、「三重6大学公開講座」の立ち上げが進められました。

現在では、短期大学・高等専門学校・放送大学を加えた県内全14校の高等教育機関と共同で、健康、医療、福祉、歴史、文学、子育て、教育、機械工学など各校の特色を活かしたバラエティ豊かな公開セミナーを日替わりで開催しています。また関連事業として、国内トップレベルの研究者による最先端の研究成果を紹介する大型講演会（オープニング）や、地域の学習ニーズや学習課題と高等教育機関をつなぐアウトリーチ事業（移動講座）も実施しています。

「三重の大学・短大・高専が一堂に集まるセミナーなんてほかにない!!」と好評で、毎年多くの方にご参加いただいています。



1997

平成9年度

文化会館 新日本フィルハーモニー交響楽団の拠点ホール契約が締結。

三重県文化会館

新日本フィルの拠点ホール契約が締結

平成7年1月の「小澤征爾指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団」から毎年の定期公演を重ねるとともに、県内アーティストの人材育成分野でも開館当初から現役団員が演奏指導する「新日本フィル演奏クリニック」を開始しました。関東圏以外で拠点的に受け入れてもらえる劇場を探していた新日本フィルと、プロオーケストラがない三重県でハイレベルな公演や指導環境を模索していた三重県文化会館、両者の思惑が合致し平成9年5月24日には正式に「関西拠点ホール契約」が締結されました。在京・在阪でない地方の公共劇場がプロオーケストラと拠点契約を交わすことは、当時全国でもあまり事例がなく極めて先進的な取り組みでした。調印式は同日開催の「小澤征爾指揮 歌劇『魔笛』演奏会形式公演」に合わせて行われ、新日本フィルからは松原千代繁常務理事（当時）と団員代表の門脇賀智志さん、そして津市出身のオーボエ奏者・森明子さんが出席しました。



1994
1995
1996
1997
1998
1999
2000
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014

1994
1995
1996
1997
1998
1999
2000
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014

1998

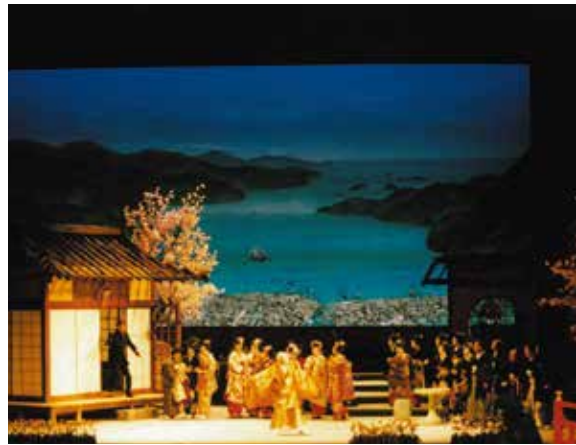
平成10年度

文化会館 **今も続く県民参加の制作の場、「三重音楽発信」創設。**
県出身演奏家シリーズ始まる。第1回は、四日市出身ピアニスト・伊藤隆之ピアノリサイタル。
スタッフを育成する舞台創造講習会始まる。
文化会館の会員制度、シアターメイッソ発足。
図書館 **三重県図書館情報ネットワークシステム「MILAI」稼働。**
全体 開館5周年・来館者500万人記念事業開催。

三重県文化会館

「三重音楽発信」創設 ～今も続く、県民参加型の制作の場～

開館以来毎年開催していた県民参加の制作演劇事業「三重県演劇塾」に並び、洋楽分野でも同様の取り組みを立ち上げようという機運が高まり、平成9年度にはオペラ、パレエ、オーケストラ、吹奏楽、室内楽、合唱等、洋楽分野の有識者らの働きかけにより「三重音楽発信」事業が創設されました。第1回目は県民参加の制作オペラに決定し、演目はブッチーニ作「蝶々夫人」に決定しました。スタッフ陣にはわが国を代表するオペラ関係者を招き、音楽監督を星出豊さん、演出を直井研二さん、総合美術を川口直次さんが務めました。一流のスタッフ陣に加え、オーディションや研修会、そして稽古とじっくりとした制作環境を設けたことで、平成11年2月の本公演では大絶賛の舞台となりました。三重音楽発信はその後県内洋楽関係者とともに合唱、ピアノ、オーケストラ、吹奏楽と多様なジャンルで開催を続け、20周年記念事業の制作オペラ「魔笛」で9回目を数えます。平成27年3月の本公演にご期待ください。



<公演記録>

平成11年2月 Vol.1 オペラ「蝶々夫人」(全3幕・日本語上演)
平成12年2月 Vol.2 カール・オルフ 「カルミナ・ブレーナ」
平成13年1月 Vol.3 響宴21 ～piano Piano piano～
平成15年3月 Vol.4 マーラー 「交響曲第3番」
平成17年3月 Vol.5 オペラ「フィガロの結婚」(全4幕・原語上演)
平成19年2月 Vol.6 吹奏楽の響宴 ～フランス vs アメリカ～
平成22年3月 Vol.7 オペラ「ドン・ジョヴァンニ」(全2幕・原語上演)
平成23年7～10月 Vol.8 リスト生誕200年コンサート
Chapter1 リスト、その華麗なる人生ー音楽と朗読で綴る物語ー
Chapter2 リストへのオマージュー巡礼の年を弾く
Chapter3 リスト生誕200年ガラ・コンサートーその至高なる芸術ーピアノと歌で綴る「愛と信仰」の世界ー

三重県立図書館

三重県図書館情報ネットワークシステム MILAI 稼働

3月、全く新しい図書館情報ネットワークシステムが稼働しました。愛称は、Mie Library Advanced Information Network Systemの頭文字の一部をとり、「未来」とかけたものです。

MILAIは「全ての図書館を全ての利用者に」を目標としたインターネット上のシステムです。県民の皆さんは、家庭や職場から県内の図書館が持っている本をまとめて検索できるようになりました。また、県内の図書館では、館同士の本の貸し借りをMILAI上で行うことができるようになりました。これにより、県民の皆さんが、県内図書館の持つ膨大な蔵書をより利用しやすくなりました。

稼働当時、図書館26館の蔵書を検索できたMILAIは、平成26年度には46館の蔵書を検索できるようになり、検索アクセス数は110万件を超えるまでになりました。これからもより多くの県民の皆さんに使っていただけるよう、MILAIの機能の充実に努めます。



1999

平成11年度

文化会館 現在まで続く「文楽」の初公演が開催。
 施設利用サービスセンター 貸館受付業務の一元化を図り、施設の貸出をより便利にする取り組みを開始。

施設利用サービスセンター

貸館受付業務一元化に向けて ～施設の貸出をより便利に～

開館当初、貸館受付業務は、文化会館棟、生涯学習センター棟、男女共同参画センター棟のそれぞれで行っていました。棟をまたがる複数の施設利用、空室確認は、主催者自身で各棟受付を訪ねる必要があり、受付時間や貸出時期が異なるために申込みに数日を要するなど、主催者にとって不便な環境にありました。

このような不便な環境改善を目的に、貸館業務を一元化する窓口設置に向けての議論が始まりました。

全施設の貸出ルール統一化・標準化など、主催者の目線に立った利便性向上の取り組みをまとめ、運用開始に向けて準備を進めました。そして、平成12年4月、全施設の窓口となる「施設利用サービス室」(現:施設利用サービスセンター)が開設されました。



2000

平成12年度

生涯学習センター 全国生涯学習フェスティバル全国大会「まなびピア三重2000」開催。
 フレンドみえ 「DV(ドメスティック・ヴァイオレンス)についての実態調査」報告書を発表。
 施設利用サービスセンター 各棟ごとに行っていた貸館業務を一元化。一括管理する部署「施設利用サービスセンター」を設置。

三重県生涯学習センター

全国生涯学習フェスティバル全国大会 開催

まなびピア三重2000は、21世紀に向けて、いつでも、どこでも、だれでも、自分の意志で楽しみながら学べる生涯学習社会の実現に向けて開催されました。

三重県総合文化センターで行われた総合開会式と総合閉会式は、企画・運営をするスタッフを広く県内外から募集、高校生からシルバーエイジの計101人の人々が、「開閉会式スタッフ養成講座」で、ステージづくりの様々なノウハウを学び、全員の力で開閉会式をつくり上げていきました。

フェスティバル開催前から、県民の「まなび」はもう始まっていたのです。

開会セレモニーでは、国歌斉唱の後、実行委員会会長の北川正恭三重県知事(当時)・鈴木恒夫文部総括政務次官(当時)による開会宣言の後、藤島親方のトーク、映像レポートによるまなびピアの概要を紹介、今陽子さんと宮川泰さん、宮川組の皆さんとのジョイントコンサートなどにより、会場は大いに盛り上がりました。

閉会式では銭谷眞美教育改革国民会議議長・河合隼雄国際日本文化研究センター所長の講演、続いてコンサート・開催地レポートが行われ、閉会セレモニー(三重県大会の成果を次期開催の山形県へ)を行いました。

最後に出演者と会場の皆さんによるイメージソング「みつばちマナビィ」「ピアの風」の大合唱でフェスティバルをしめくりました。



1994

1995

1996

1997

1998

1999

2000

2001

2002

2003

2004

2005

2006

2007

2008

2009

2010

2011

2012

2013

2014

2001

平成13年度

- 文化会館 平田オリザ主宰「劇団青年団」初公演として『冒険王』を上演。
一流アーティストのコンサートが千円で楽しめる「家族みんなで楽しむコンサートシリーズ」開始。
学生全席半額の「青少年コンサートシリーズ」開始。
展示企画に合わせた三重県立美術館のロビーコンサート「ミュージアムコンサート」開始。
- 生涯学習センター 「みえ生涯学習ネットワーク事業」開始。
- フレンテみえ 「三重県女性センター」から「三重県男女共同参画センター フレンテみえ」へ改称。
- 全体 三重県総合文化センターとしてISO9001認証を取得。

三重県文化会館

一流アーティストのコンサートが家族で楽しめるシリーズ始まる

一流アーティストのコンサートを1人千円で、4人家族でも4千円で楽しめるコンサート「家族みんなで楽しむコンサートシリーズ」。第1回は平成13年12月「伊藤恵ピアノ・コンサート」でした。

<公演記録>

- 平成13年12月 「伊藤恵 ピアノ・コンサート」
- 平成15年 3月 「仲道郁代 ピアノ・リサイタル」
- 平成16年 3月 「前橋汀子 ヴァイオリン・コンサート」
- 平成16年 7月 「工藤重典 フルート・コンサート」
- 平成17年 2月 「トロンボーン・カルテット シンガ」
- 平成17年 5月 「二村英仁 ヴァイオリン・コンサート」
- 平成18年 4月 「カール・ライスター クラリネット・コンサート」
- 平成19年 5月 「トロンボーン・カルテット シンガ」
- 平成21年 3月 「熊本マリ ピアノリサイタル」
- 平成21年 5月 「奥村愛 ヴァイオリン・コンサート」



三重県男女共同参画センター

「フレンテみえ」として新たなスタート

開館以来、様々な活動を通して県民に親しまれてきた「三重県女性センター」ですが、平成11年の「男女共同参画社会基本法」、12年の「三重県男女共同参画推進条例」の制定・施行を受けてこの年の4月から「三重県男女共同参画センター」に改称。愛称も「フレンテみえ」となり、新たなスタートを切りました。

“フレンテ”はスペイン語で「前向き」という意味です。県民の皆さんが性別に関わらず、その人の個性や能力を活かしてさらに「一歩前へ」進んでもらえるようにという願いが込められています。

オープン以来、総合文化センターの中で施設の名称が変わったのはこの「フレンテみえ」のみ。それからさらに13年が経ち、現在では様々な企画や視察などを通して全国各地から年間数万人もの人々が訪れるセンターとなりました。



2002

平成14年度

- 文化会館 ヴァイオリニスト・五嶋みどりコンサートを県民参加型で開催。
三重県ジュニア管弦楽団事務局が当事業団に移管。
- 生涯学習センター まなびいすどとセミナー開始。「名聲を聴く」「郷土を歩こう」など、10年以上続く人気シリーズ。
- 図書館 オンライン予約配送サービス(e-Booking)開始。
- 全体 冬のイルミネーション開始。ボランティア手作りの心あたたまる光が話題に。

三重県文化会館

県民参加型でユニークな仕掛け満載！五嶋みどりコンサート

世界的ヴァイオリニスト・五嶋みどりさんが掲げたコンセプトが「演奏家、聴衆、コンサートにかかわるすべての人々がひとつのテーマ「絆」で結ばれ、誰もが「私のコンサート」と思えるような体験」。この趣旨を受けて県民から企画・運営スタッフを広く募集し、県民参加型の手作りコンサートを開催しました。曲目をお客様リクエストで選ぶ、東紀州から送迎バスを運行するなどユニークな仕掛け満載のコンサートでした。



2003

平成15年度

- 文化会館 団体「三重映画フェスティバル」と連携し、映画監督・小津安二郎の「オズ吹奏楽」が発足。
三重音楽祭「第九」初開催。
- 生涯学習センター みえ県民カレッジのつどい 瀬戸内寂聴講演会「切に生きる」開催。
男女共同参画強調月間 Jg(フォルティッシモ) 開始。著名人の講演会などを実施。
- 全体 子ども対象のセンター事業を「M祭!」として体験学習型に一新。県内教育施設とも連携。

三重県生涯学習センター

みえ県民カレッジのつどい
瀬戸内寂聴講演会「切に生きる」

瀬戸内寂聴さんの講演会は生涯学習センターにとって、いつか実現したいと秘かに温めていた企画です。しかし、普通に依頼して実現するものでもなく、糸口さえ見つからないまま年数が経っていました。そんな中、2002年にNHK津放送局および三重県文化会館との共催によって「池辺晋一郎&阿川佐和子音楽の散歩道」という企画を実施することになったのですが、寂聴さんの講演会はこちらのご縁で浮かび上がってきたものです。NHK津放送局の小池局長(当時)が、寂聴さんの秘書や書籍の編集者をよく御存知であったことも大きかったです。講演会はどうして実施することになりましたが、心配したチケットも45分で完売となり、大変な評判でした。講演会当日は、ステージ上を動きながら熱く語りかける寂聴さんのお話しに、満員のお客様は大いに反応し、会場は深い感動に包まれました。

講演会を実施することになって、生涯学習センターのボランティアの間で事前学習の計画が持ち上がり、3回連続の講座が生まれました。これが現在も続いている文学講座のスタートです。



2004

平成16年度

- 文化会館 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、開館10周年で初来県。
文化庁「本物の舞台体験事業」で、東紀州地域でのアウトリーチ公演への取り組みを始める。
- 生涯学習センター あなたのまちの学習情報誌「いきいき生涯&ゆうゆう学習」創刊。
「みえ7大学公開セミナー」を「みえアカデミックセミナー」に改称。
- 全体 三重県総合文化センター開館10周年。
小学生を対象に、劇場と図書館の社会見学プログラムを開始。
指定管理者制度による第一期管理・運営開始。(10月1日～)

三重県文化会館

開館10周年で初来県
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

開館10周年記念を祝う招聘公演を検討する中で、この年来日予定があった世界トップのオーケストラ、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の招聘に成功しました。指揮者は当時既にマリインスキー劇場の芸術総監督を務め、全世界が注目するワレリー・ゲルギエフ。トップ中のトップ同士が共演する夢のような組み合わせのコンサートが三重県で開催されることになりました。平成16年11月13日の三重県文化会館大ホールは開場前から興奮と期待に包まれ、「チャイコフスキー／交響曲第4番ヘ短調op.36」の演奏後には感動で鳴り止まない拍手に会場全体が包まれました。



1994

1995

1996

1997

1998

1999

2000

2001

2002

2003

2004

2005

2006

2007

2008

2009

2010

2011

2012

2013

2014

2005

平成17年度

施設利用サービスセンター
全体

貸館の主催者様向けの看板作成、データ受信プリントサービスなどを充実。
センター全体のボランティア制度が始まる。2014年現在159名の総文ボランティアが登録。
企業版友の会、法人協賛会員制度開始。

三重県総合文化センター

ボランティア制度、新スタート

三重県総合文化センターでは、たくさんの県民の方々が職員と共にセンターの運営に携わり、皆さんがやりがいをもってボランティアとして活動しています。その大きなきっかけとなったのは、平成17年のボランティア制度改革でした。

当時、三重県文化会館のピアノ弾き込みボランティア、文化ボランティア、生涯学習センターの情報ボランティア、講座ボランティア、男女共同参画センターの託児ボランティア等センター内の各事業部門でそれぞれバラバラに活動していたボランティアを総務部で取りまとめ、この年から「三重県総合文化センター ボランティア」として「園芸」「取材」「企画運営」「館内案内」「図書館」の新分野とともに新しいスタートを切ったのです。これを機にボランティア募集の一元化、ボランティア交流会の開催等、ボランティアを希望する人たちがより充実した活動を行えるものへと成長させていきました。その後「上映」「司会」「写真」の分野が増え、現在12の分野で159名の方がボランティアとして様々な活動を行っています。



園芸ボランティア



ピアノ弾き込みボランティア

2006

平成18年度

文化会館
施設利用サービスセンター
全体

熊野古道世界遺産2周年オリジナル曲を加古隆さんに作曲委嘱。
リハーサル室の深夜延長サービス、無線LANサービス開始。クレジット決済導入。
アートミュージアムショップ開店。三重県特産品や音楽グッズなどの販売を開始。
子どもの日にあわせ、広場にこいのぼり掲揚を開始。

三重県文化会館

世界遺産2周年オリジナル曲 加古隆「熊野古道」

平成16年に熊野古道は世界遺産に登録され、登録2周年記念事業を検討する中でこの企画は持ち上がりました。それは後世に残る熊野古道をテーマにしたオリジナル曲を創ろう、そしてその世界初演を2周年記念事業として開催しようというものでした。まずは作曲を誰に委嘱するか、様々な候補の中から選んだのは、テレビドラマ「白い巨塔」や映画「博士の愛した数式」の音楽、NHKスペシャル「映像の世紀」のテーマ曲「パリは燃えているか」などを担当して大きな話題を呼んだ、ピアニストの加古隆さんでした。加古さんは実際に熊野古道に入山し、そこで得たインスピレーションをもとに4楽章からなる組曲「熊野古道～神々の道～」を完成させました。こうして平成18年7月1日に三重県文化会館で、翌7月2日には尾鷲市民文化会館で世界初演となる「加古隆コンサート2006 熊野古道～神々の道～」が開催されました。その後同曲は洗足学園音楽大学の伊藤康英さんにより「熊野古道賛歌」として吹奏楽版に編曲され、三重県のみならず全国各地で演奏され続けています。また、平成26年11月には世界遺産登録10周年記念として再び三重県文化会館と尾鷲市民文化会館で同曲をメインプログラムにした加古隆コンサートを開催する予定です。



2007

平成19年度

文化会館 チケットレス500円などをコンセプトにした「ワンコインコンサート」開始。
演劇のプロと劇場の共同制作、劇団青年団プロジェクト公演が開催。

フレンデみえ 「三重県内男女共同参画連携映画祭」開始。平成26年で8回目を迎える。
リハーサル室の深夜延長サービス、無線LANサービス開始。

施設利用サービスセンター ビジネスサポート おしごとコーナー（現 ビジネス情報コーナー）開設。

図書館 指定管理者制度による第二期管理・運営開始。

全体 貸館利用のない時の茶室利用として、お茶処「なごみ」開始。
お正月イベント開始。

三重県文化会館

大人気! ワンコインコンサート始まる

平成18年ごろに新潟発で兵庫でも話題になりつつあった「ワンコインコンサート」。そのコンセプトは明確で「平日昼間」「楽しいトーク付き」「チケットレス500円」「1時間」「誰でも知っている名曲」「コンサート後には提携店舗でランチ特典」など、クラシックの裾野を広げるコンサートとして大変魅力的な企画でした。この2都市の成功事例を徹底的に調査し、三重県風にアレンジして三重県文化会館の初めてのワンコインコンサート、「vol.1 ピアノ 三輪郁」は企画されました。ランチ特典には三重県総合文化センター「RIZ CAFE」をはじめ、近隣の8つの店舗が参加してもらえることになりました。今や当会館の看板プログラムともいえる人気シリーズですが、チケットレスということは蓋を開けてみないと何人のお客様が来場するか分からない?ということでスタッフ一同びくびくしながらの船出でしたが、初回の来場者数がなんと中ホールで立ち見も出る949名!そして「vol.2 サクソフォーン ツカモト・シスターズ」では中ホールに入りきらない1,200名あまりの人が押し寄せ、第4回目から大ホールに会場変更することになりました。その後も人気は年々拡大し、平成26年7月の「ピアノ 加羽沢美濃」で50回を数え、四日市市、松阪市、伊勢市と当会館で生まれたワンコインコンサートが県内各地に波及しています。



三重県男女共同参画センター

「三重県内男女共同参画連携映画祭」開始

「もっと多くの人に、もっと気軽に“男女共同参画”に触れていただきたい」。

あらゆる世代の皆さんへの啓発の機会として、また県内の自治体や男女共同参画センターとの事業ノウハウの共有のために始まった「連携映画祭」。当初は「はもりあ四日市」「ジェフリーすずか」とフレンデみえの3センター連携でしたが、年を追うごとにその輪は広がり、8回目となった平成26年度は県内29市町中27市町との連携が実現。今では7000人以上のお客様にご参加いただく一大事業へと成長し、6月の「男女共同参画強調月間、*ff* (フォルティッシモ)」のメイン企画のひとつとなりました。

会場では連携映画祭や開催市町の男女共同参画の取組を紹介するパネル展示をはじめ、首長あいさつやブレトーク・アフタートーク、寸劇・朗読などによるメッセージ発信、また、監督を招いてのトークショーや女声コーラスの演奏会など、開催市町や地元グループの工夫で映画にちなんだ催しを実施するところも。

多くの県民の皆さんに楽しんでもいただきながら、そして誰でも気軽に男女共同参画について知っていただくきっかけとなる事業として、全国からも注目されています。



1994

1995

1996

1997

1998

1999

2000

2001

2002

2003

2004

2005

2006

2007

2008

2009

2010

2011

2012

2013

2014

2008

平成20年度

文化会館 雅楽公演、初開催。
生涯学習センター 文化体験パートナーシップ活動推進事業の前身、
「子ども向け文化芸術体験プログラム」開始。
フレンテみえ 「三重の女性史」発行。

三重県生涯学習センター

子ども向け文化芸術体験プログラム 始まる

この事業は、県内のさまざまな文化と知的探求の拠点や、アーティストと協働して、未来の文化を担う子どもたちにすぐれた文化・芸術との「出会い」を提供することを目的としています。

当初は協力してくれる専門家を得ること、費用や道具の確保、そして体験を授業に組み入れる方法など多くの課題がありましたが、この事業を開始して以来、実施した学校数は年ごとに増え続け、平成25年度には県内小学校約400校の18%（のべ数）に達しています。また、「いつもと違う授業」や「プロのアーティストに出会う」環境は、短期的には授業内容の強化、長期的には創造力やコミュニケーション力の育成、キャリア教育の一助など、様々な効果を発揮し続けています。

指導にあたってこられた専門家の方々、授業に位置づけ、事前、事後の指導をされた先生方、そして体験の主役である子どもたち、このすべての方々から、感動と喜びの声をいただいています。この事業によって三重の子どもたちが豊かな体験をして成長することを願っています。



三重県男女共同参画センター

「三重の女性史」発行

三重県の男女共同参画推進の基礎資料・参考資料をと平成16年度から5年計画で企画された『三重の女性史』が、有識者による「三重県女性史作成検討委員会」での協議のもと、「三重の女性史編さん委員会」「三重県女性史執筆・編集委員」ほか多くの協力により平成20年度末、ついに完成。センター開館15周年記念として刊行されました。

本書では、明治～2000年にかけての三重県内の女性の歴史を「通史」「聞き書き」「年表」の3部で構成。さまざまな分野で先陣を切って活動してきた三重の女性を資料から掘り起こし、埋もれていた歴史に光を当てています。聞き書きでは、これまで様々な分野で活躍した三重の女性や団体が詳しく語られ、また、年表には県内と国内外の女性に関わる出来事が集約、紹介されています。

県内には女性史に係る資料や研究が少なく、それらを手探りで掘り起こす作業に多くの時間が割られました。それにより集積された膨大な情報も、大きな、そして貴重な成果となりました。ぜひ多くの県民の皆さんに活用いただきたいと思います。（本書はフレンテみえ情報コーナーで閲覧できます）



2009

平成21年度

文化会館 全国初、小ホール24時間自主使用開始。
インターネットチケット販売サービス エムズネット開始。
全体 三重県総合文化センター開館15周年。記念事業を開催。

三重県文化会館

全国初、小ホール24時間使用で全国からオファー殺到

三重県文化会館の小ホールは実験空間としてパフォーミングアートに大変魅力的な空間ですが、開館以来この空間を活かしたアート事業が行われていませんでした。そこでこれから演劇やコンテンポラリーダンス事業に本格的に着手するにあたり、起爆剤となるような仕掛け、全国的にも話題となりカンパニーに興味を持ってもらえる仕掛けを検討する中、「小ホールの24時間自主使用」というプランが持ち上がりました。新しい企画には勢いのある若手劇団がいいだろうということで白羽の矢を立てたのが、当時東京の若者の間で人気急上昇であった劇団「柿喰う客」。彼らと全国公募で集まった15人で2週間の合宿創作を敢行し、三重県オリジナルの新作「スポーツ演劇『すこやか息子』」が生まれました。公演作品とこの仕掛けは全国的に話題となり、平成21年12月には王子小劇場で同作品の東京公演も開催されました。全国的にも類を見ないこの創作・公演環境は瞬間に業界に浸透し、今では全国各地のカンパニーから三重での活動のオファーが殺到しています。



2010

平成22年度

- 文化会館 3つの公共劇場と劇団がワリカンする「トリプル3」開始。
若手劇団を提携で招聘する「Mゲキ!!!!セレクション」開始。
ユニークな企画展示「みえの絵本作家たち展」開催。
学割でチケットが購入できる「キャンパスシートチケット」開始。
看板作成、データ受信プリントに加え、お弁当手配、装花手配、会場設営、
チケット作成、ピアノ調律師手配等の新サービスを開始。
- 施設利用サービスセンター 県立図書館シンポジウム「明日の県立図書館」開催。講師に植島啓司さん、石川直樹さんら。
センター全体の映画祭「三重そうぶんシネマスクエア」開始。
東紀州地域からのコンサートやイベントにあわせたバスター開始。
指定管理者制度による第三期管理・運営開始。
- 図書館 全体

三重県文化会館

3つの公共劇場と劇団がワリカンする「トリプル3」始まる

この企画は中央に頼ることなく地方の公共劇場が持続可能な演劇制作の環境をつくることを標榜し、東海・近畿エリアの3つの公共劇場と、同じく地域で活躍する3つの劇団が手を結び、3年間にわたり演劇作品を作り続ける構想でスタートしました。企画の構想段階では「地産地消」「アーティスト・イン・レジデンス」「地域交流プログラム」「巡回公演ではなく滞在制作」など、キーワードとなる骨子が幅広く議論され、最後にこのネットワークの精神として極めて重要なキーワードである「ワリカン」という言葉に辿り着きました。お金も労力もノウハウも、はたまた作品までもみんな「ワリカン」してしまおうという発想でした。とはいえ毎年3地域で劇団員と各地の公募俳優で新しい座組を作って作品を生み出す作業はやはり大変なものでした。劇団の本公演並みのクオリティを目指し稽古に明け暮れる日々と、その合間をぬってのワークショップ出張。3つの劇団の誠意と各地の参加者の熱意に助けられて3年間で各地に3作品、計9つの作品が誕生しました。年度をまたいで、また地域をまたいでオーディションを受ける参加者が現れたり、愛知・大阪・三重の3地域全ての公演をご覧になるお客様がいらっしゃる、従来の市民参加劇では起こり得なかった人の動きが生まれたのも嬉しい現象でした。



「綻刻-ラグタイム-」撮影:石川隆三(スタジオSTR)

<三重公演記録>

- 平成22年10月 劇団太陽族「綻刻-ラグタイム-」×三重県文化会館
平成23年12月 劇団ジャブジャブサーキット「やみぐも」×三重県文化会館
平成24年10月 南河内万歳一座「あらし」×三重県文化会館

三重県文化会館

全国のハイレベルな劇団が注目「Mゲキ!!!!セレクション」

小ホールに滞在環境を整えたことで、続いて打ち出したのが若手劇団を提携で招聘するシリーズ「Mゲキ!!!!セレクション」の立ち上げでした。小屋入りから本番終了までの小ホール滞在環境と、事前ワークショップや現地広報の協力をする事で、全国から続々と才能ある若手劇団が三重県文化会館で公演を開催するようになりました。第1弾に選んだのは日本各地のみならずドイツやフランスでも公演を行う第七劇場(東京:当時、現在三重)の代表演目である「チェーホフ作/『かもめ』」。平成22年12月の三重公演は第七劇場ワールドツアーの日本公演として開催されました。その後も同シリーズでは続々と若手の才能を発掘し、「Mゲキセレクション」に招聘した「ままごと」「サンプル」「ハイバイ」が招聘直後に「演劇界の芥川賞」とも称される若手劇作家の登竜門「岸田國士戯曲賞」を受賞するなど、全国的にもセレクトが注目されるシリーズになっています。

<公演記録>

- 平成22年12月 第七劇場「かもめ」
平成23年 2月 ハイバイ「投げられやすい石」
平成23年 2月 柿喰う客 こどもと観る演劇プロジェクト「ながぐつをはいたねこ」
平成23年 5月 ままごと『わが星』
平成23年 9月 最強の一人芝居フェスティバル「INDEPENDENT」
平成24年 4月 サンプル「自慢の息子」
平成24年 5月 劇団あおきりみかん「湖の白鳥」
平成24年 7月 百景社「バーサよりよろしく」
平成24年 1月 ハイバイ「靈感少女ヒドミ」
平成25年 3月 烏丸ストロークロック「国道、業火、背高泡立草」
平成25年 6月 ハイバイ「て」
平成25年 7月 劇団野の上「不識の塔」
平成25年11月 iaku「目頭をおさえた」
平成26年 5月 A.C.O.A.「ジョン・シルバー」×百景社「斜陽」
平成26年 8月 F's Company PRESENTS「マチクイの嵐」



1994

1995

1996

1997

1998

1999

2000

2001

2002

2003

2004

2005

2006

2007

2008

2009

2010

2011

2012

2013

2014

2011

平成23年度

文化会館 おいしい料理と演劇鑑賞をセットにした「M-PAD」開始。
吹奏楽分野の新しい人材育成「ミエ・ユース・ウインド・オーケストラ」開始。
フレンテみえ 男女共同参画センターでは珍しい演劇公演、二兎社「シングルマザーズ」公演。
図書館 10年先のあるべき姿をまとめた三重県立図書館改革実行計画「明日の県立図書館」を開始。
全体 東日本大震災後の電力事情等を鑑み、イルミネーションを中止し、キャンドルナイトを実施。
財団法人から公益財団法人としてスタート。(7月1日～)
立体駐車場完成。おもいやり駐車場などを整備。

三重県男女共同参画センター

二兎社「シングルマザーズ」公演

男女共同参画にあまり関心がない方にも「新しい気づき」を得ていただけるよう、単館の男女共同参画センターでは招聘が難しい演劇公演を主催しました。

作品は二兎社の新作「シングルマザーズ」。母子家庭が抱える様々な問題に向き合いながらたくましく生きる女性たちが描かれた本作はご好評をいただき、二兎社公演は翌年の「こんばんは、父さん」、平成25年度の「兄帰る」まで3年連続開催が実現しました。

作・演出で二兎社主宰の永井愛さんは、身近や意識下に潜む問題をすくい上げ現実の生活に直結したライブ感覚あふれる劇作を数多く発表されていて、作品には「女性であること」の視点も感じられます。公演の際はアフタートークなども開催し、永井さんから直接、作品づくりやジェンダーに纏わる想いなど興味深いお話をたくさん伺いました。さらに平成25年度には、「NPO法人全国女性会館協議会 第57回全国大会in三重」において、ご一緒に二兎社を起ち上げた盟友でもある脚本家、大石静さんと永井さんのスペシャル対談も実現。こちらも大変なご好評となりました。

複合文化施設として使用できる劇場や文化事業実施のノウハウを持つ当センターの特性を活かして企画された公演でしたが、新しい形での男女共同参画発信の好例として、内外から注目を集めました。



三重県文化会館

おいしくてあたらしい演劇鑑賞「M-PAD」開催

仙台発のおいしい料理と文学作品の朗読をセットにしたイベント「杜の演劇祭」を参考にしてこの企画は立ち上がりました。仙台のイベントを視察した津市にある民間劇場「津あけぼの座」と三重県文化会館とが協働し、三重風にアレンジしてつけたイベントタイトルが「M-PAD」。「Mie Performing Arts × Dinner Dining Delicious」の頭文字をとり、「おいしくてあたらしい料理と演劇のたのしみかた」と銘打ちました。初年度に会場に選んだお店・場所は老舗洋食店「中津軒」や「塔世山四天王寺」など、どこも名店・名利と名高いところばかり。演劇が町に飛び出すこの新しい仕掛けは宣伝美術の美しさが功を奏し、各店舗のチケットは瞬く間にソールドアウトしました。おいしい料理に加えて江戸川乱歩や宮沢賢治らの名作、そして俳優の熱演が間近で楽しめるこの企画、あるお客様から「幸せかける幸せやなあ」といった感想をいただき、スタッフ一同大喜びしました。「M-PAD」はその後も年々規模を拡大し、平成25年11月には四日市市と多気町でも初めて開催しました。多気町では高校生レストランで有名な「まごの店」を会場に、料理をふるまうのは相可高校OB・OGらの「せんぱいの店」という、「M-PAD」がなければ実現しなかった新旧コラボレーションも感動的でした。



三重県文化会館

新しい人材育成の試み「ミエ・ユース・ウインド・オーケストラ」立ち上げ

吹奏楽分野の新しい人材育成の試みとして三重県吹奏楽連盟と協働で、1年間の期間限定のウインド・オーケストラを立ち上げることにしました。県内各地の中高吹奏楽部から団員を募集し、発表公演をゴールにした部活動の垣根を越えた活動です。指導者には関西拠点ホール契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団の現役楽団員らがあたり、泊まり込みの合宿を含む稽古を重ねます。初年度の発表公演は平成24年3月25日に志摩市の阿児アリーナ・ベイホールで開催され、多くの観衆が見守る中、「アルメニアン・ダンスpart1」「ディズニー・メドレー」など1年間の練習成果を奏で、会場は大きな感動に包まれました。

<公演記録>
平成24年3月 志摩市阿児アリーナ
平成25年3月 多気町民文化会館
平成26年3月 御浜町中央公民館



2012

平成24年度

文化会館 「ファンファーレ」「三島ル」プロデュース公演。
生涯学習センター 三重のミュージアム活性化のための「見る・知る・巡る! みえミュージアムセミナー」開始。
図書館 「Library of the Year 2012」優秀賞受賞。
関心の高い「医療・健康コーナー」開設。
全体 津商業高等学校との「実働避難訓練」を実施。参加者約1,000名。

三重県生涯学習センター

「見る・知る・巡る! みえミュージアムセミナー」誕生のはなし

生涯学習センターの事業には美術館、博物館、記念館などと連携して講座を開催したり、地域へ出かけるものがあります。ただ、それらはセンターと館との1:1の関係にとどまっていた。せっかく多くの館と連携しているのですから、この枠組みをもっと拡大し、センターがハブとなって館どうしがつながることができないかと考えたのがきっかけです。2012年2月、これまでご縁のあった館の代表に集まっていただき、三重県のミュージアム状況を自由に話し合いました。各館を背負う方々ですから互いに共感することが多く、この場で三重のミュージアムを活性化するために何かアクションを起こそうとなったわけです。これが「みえミュージアムセミナー」のスタートです。ポイントは各ミュージアムが自主的につながり、個性を発揮し、各館でできることを最大限追求することでした。要はやる気のある館で「この指とまれ!」式にやろうということです。センターが狙うセミナーの趣旨は、ミュージアムが美術、歴史、自然などの「ジャンルを越えてつながること」、県立、市立、民間など「設置者の壁を越えてつながること」、北から南まで「地域を越えてつながること」でした。各ミュージアムのねらいは、見て知ったら「館に来てもらい」、そこで本物に触れてもらうことです。ミュージアムセミナーの先にあるのは学びとツーリズムとの融合です。



三重県立図書館

「Library of the Year 2012」優秀賞受賞

県立図書館が、NPO法人知的資源イニシアティブが授与する「Library of the Year (ライブラリー・オブ・ザ・イヤー)」の優秀賞を受賞しました。

「Library of the Year」は、これからの日本の公共図書館のあり方を示唆する、先進的な活動を行っている機関に対して毎年授与する賞です。これまで、鳥取県立図書館などが国の名だたる図書館が受賞しています。

受賞にあたっては、県立図書館のあるべき姿をめざす「明日の県立図書館」をオープンな手法で策定し進めていることや、旬の企画を率先してプロデュースし、県内各地の公共図書館と共催する形で活動を展開していることなど、県立図書館が県内の図書館活動を積極的に推進している点が評価されました。

この受賞を励みに、これからも県内の図書館サービスの向上に取り組んでいきます。



2013

平成25年度

文化会館 青少年対象「ミエ・ユース・演劇ラボ」開始。
公共ホール演劇ネットワーク事業の幹事劇場に。
図書館 南伊勢町文化の集い「わたしたちの町に図書館ができた!」開催。
全体 子ども対象事業「M祭!」を芸術文化に触れる場所としての「キッズ・アート・フェスティバル」としてリスタート。
いつまでも楽しめるレンタルお絵かきキット「絵かきのコぼく」開始。

三重県文化会館

青少年対象「ミエ・ユース演劇ラボ」立ち上げ

音楽分野で部活動の垣根を越えた取り組み「ミエ・ユース・ウィンド・オーケストラ」事業が成功したことを受けて、演劇分野でも青少年を対象とした同様の事業を立ち上げることになりました。音楽・演劇の2つの青少年育成事業の始まりです。従来の県民参加演劇とは一線を画し、対象を25歳以下に限定し、俳優だけでなくスタッフワーク・広報・制作まで幅広く募集するという「疑似劇団活動」を目指しました。オーディションで合格したメンバーが最初にする共同作業は「劇団名を決めること」で、初年度の劇団名は議論の末に若い勢いを感じさせる「くさきもなびく」に決定しました。初年度の講師に選んだのは京都を代表する注目の劇団「烏丸ストロークロック」主宰の柳沼昭徳さん。作品は柳沼さんが書き下ろした佳作「山下君が死んだあとのこと」、発表公演は若者たちの熱のこもった演技、そして照明操作を担ったのがなんと弱冠16歳の高校1年生という驚きもあり、大団円を迎えました。



撮影:東直子

<公演記録>

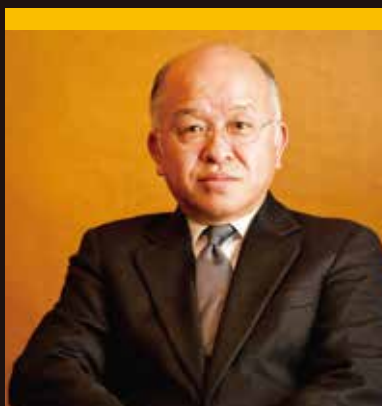
平成26年2月 ミエ・ユース演劇ラボ2014・烏丸ストロークロック くさきもなびく「山下君が死んだあとのこと」

1994
1995
1996
1997
1998
1999
2000
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014

三重県総合文化センター開館20周年記念事業

1994年10月7日の開館から20年ー 積み重ねたひとつひとつのあゆみに「ありがとう」
そしてこれからの三重県総合文化センターも「どうぞよろしく」の気持ちを込めて

2014.4.13 SUN



浅田次郎
講演会

「読むこと 書くこと 生きること」
三重のまなび2014・キックオフ講演会

2014.6.8 SUN



ダイヤモンド☆ユカイ
トーク&ミニライブ

「飾らない生き方。」～オトコ☆フニン☆イクジ～
対談／徳倉康之
(NPO法人ファザーリング・ジャパン事務局長)

2014.7.6 SUN



ロバート キャンベル
講演会

「日本文学からみえるこの国の未来」
みえアカデミックセミナー2014オープニング

2014.8.30 SAT



アジアの恐竜時代
講演会

みえミュージアムセミナー特別講演
講師:福井県立恐竜博物館特別館長 東洋一

2014.9.5 FRI



photos:Kiyonori Hasegawa, Nobuhiko Hikiji,
Eiichiro Sakata, Wiener Staatsoper/Michael Poehn

東京バレエ団創立50周年
「祝祭ガラ」

出演／ウラジーミル・マラーホフ、
マニュエル・ルグリ、シルヴィ・ギエム ほか
東京バレエ団創立50周年記念

2014.10.5 SUN

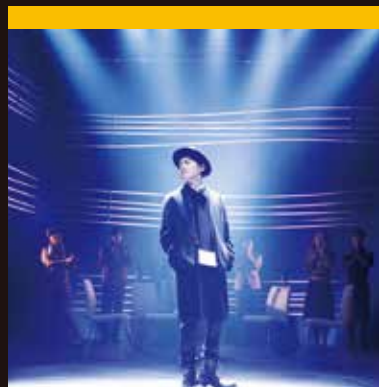


photo:伊東和則

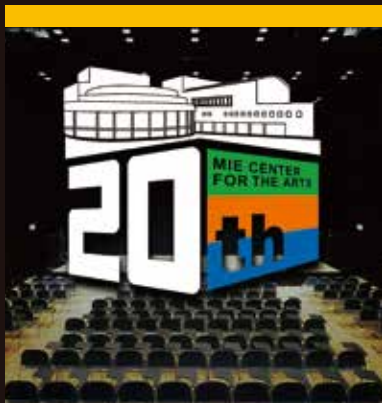
キャラメルボックス 2014
Greeting Theater
「無伴奏ソナタ」

原作／オーソン・スコット・カード
脚本・演出／成井豊

THANK YOU FOR TWENTY YEARS !!!

20th ANNIVERSARY

2014.10.10 FRI



20周年記念講演会 &シンポジウム

記念講演 講師:近藤誠一
(近藤文化・外交研究所代表 [前文化庁長官])

2014.11.2 SUN



photo:Helikon

イスラエル・フィル ハーモニー管弦楽団

指揮:ズービン・メータ

2014.11.8 SAT



男女共同参画フォーラム みえの男女(ひと)2014

講師:岩田喜美枝
(公益財団法人 21世紀職業財団会長)
前(株)資生堂 代表取締役・副社長)

2014.11.24 MON



資料提供 林 風舎

宮沢賢治の世界 三重のまなび2014

2015.1.24 SAT



新春雅楽 源氏物語

～光彩を放つ歌舞～

フクロク/河原徳子・野原耕二
解説/野原耕二 演奏/東京楽所

2015.3.15 SUN



オペラ「魔笛」

三重音楽発信Vol.9
星出豊プロデュース・オペラ



三重県総合文化センターの建物とブルー(文化会館)・グリーン(生涯学習センター)・オレンジ(男女共同参画センター)の3施設のテーマカラーを象徴的に使用しています。その3施設のつながりが三重県総合文化センターをより魅力的に彩ります。作成にあたり、三重県総合文化センターで働く私たちが一堂に会して、あらためてセンターの魅力を考え、意見を出し合いました。ふだん気づかないような小さな出会い、当センターを訪れる人々の楽しみ、充実感、よろこびをより一層分かちあいたいという願い、想いをロゴマークに表現しました。

Gallery

三重県文化会館チランギラリー

- ・オペラ・オペレッタ
- ・バレエ
- ・新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・オーケストラ
- ・ニューイヤーコンサート
- ・器楽・室内楽・吹奏楽
- ・三重音楽発信
- ・三重県出身演奏家シリーズ
- ・グランプリコンサート
- ・家族みんなで楽しむコンサートシリーズ
- ・ワンコインコンサート
- ・ワンコインジャズ
- ・世界へはばたく日本の演奏家シリーズ
- ・ミエ・ユースウインド・オーケストラ
- ・ジャズ
- ・世界民族音楽シリーズ
- ・ワールド・music・show
- ・ミュージカル
- ・演劇
- ・Mゲキ!!!!セレクション
- ・トリプル3 演劇フリカンネットワーク
- ・ミエユース演劇ラボ
- ・朗読アウトリーチ M-PAD
- ・三重県演劇塾
- ・歌舞伎
- ・文楽
- ・伝統芸能
- ・伝統芸能サミット
- ・落語
- ・ポップス
- ・ファミリー
- ・展示
- ・三重の作家たち展
- ・著名作家展

文化会館のこれまでの事業チランをカテゴリ別に掲載しています。

オペラ
オペレッタ

1995



1996



1996



1997



1997



1998



1998



1999



2000



2000



2001



2002



2002



2003



2004



2005



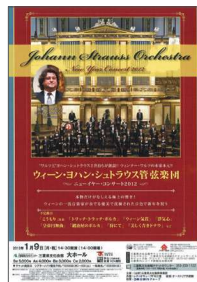
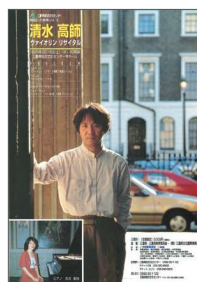
2006



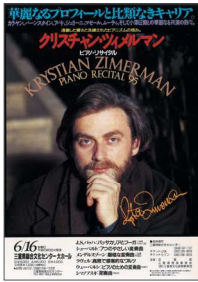
2007	2008	2009	2011	2012	2013
2013	2014	バレエ	1994	1995	1996
1997	1998	1999	2000	2001	2002
2003	2005	2005	2006	2007	2008
2009	2010	2011	2012	2013	2014

注：西暦は年度表記です。

新日本 フィルハーモニー 交響楽団	1994 	1995 	1996 	1997 	1997 
1998 	1998 	1999 	1999 	2000 	2000 
2001 	2001 	2002 	2002 	2003 	2003 
2004 	2004 	2005 	2005 	2006 	2006 
2007 	2007 	2008 	2008 	2009 	2009 

2003	2003	2004	2005	2006	2008
					
2009	2009	2010	2010	2011	2011
					
2012	2012	2013	ニューイヤー コンサート	2001	2002
					
2004	2006	2008	2009	2010	2011
					
2012	器楽 室内楽 吹奏楽	1994	1994	1994	1994
					

1995



1995



1995



1996



1996



1996



1996



1996



1997



1997



1997



1998



1998



1998



1998



1999



1999



1999



2000



2000



2000



2001



2001



2001



2002



2002



2002



2002



2002



2003



注：西暦は年度表記です。

2003	2003	2003	2003	2003	2004
					
2004	2004	2004	2005	2005	2006
					
2006	2007	2007	2007	2008	2009
					
2009	2010	2010	2010	2011	2012
					
2012	2012	2012	2012	2012	2013
					

2014

2014



三重音楽発信

1998

1999

2000



2002

2004

2006

2009

2011

三重県出身
演奏家シリーズ

1998

2000

2001

2002

2003



2005

2007

2008

2009

2011

グランプリ
コンサート

2004

2005

2006

2007

2008



注：西暦は年度表記です。



2010

2010

2010

2010

2010

2010



2010

2010

2011

2011

2011

2011



2011

2011

2011

2011

2012

2012



2012

2012

2012

2012

2012

2012



2012

2012

2012

2013

2013

2013



注：西暦は年度表記です。

2013 	2013 	2013 	2013 	2013 	2013 
2014 	2014 	2014 	2014 	2014 	2014 
ワンコイン ジャズ	2011 	2011 	世界へはばたく 日本の演奏家 シリーズ	2000 	2001 
2002 	ミエ・ ユースウィンド・ オーケストラ	2011 	2012 	2013 	
ジャズ	2001 	2002 	2002 	2004 	2005 

2006

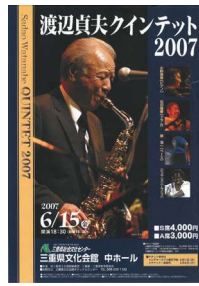
2007

2008

2009

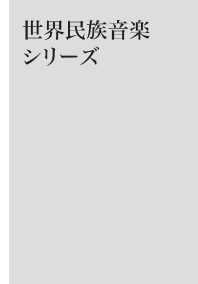
2010

2011



2012

2014



1999

2000

2001

2002

2003

2004



2005

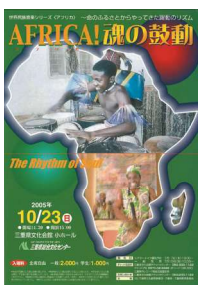
2006

2007

ワールド
—music
—show

1995

1996



1999

2000

2001

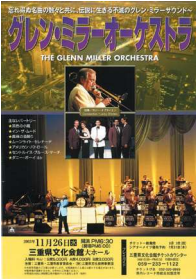
2001

2002

2003



注：西暦は年度表記です。

2003	2003	2004	2004	2005	2005
					
2005	2006	2006	2010	2011	2012
					
2013		1994	1994	1995	1997
	ミュージカル				
1998	2001	2001	2004	2006	2007
					
2008	2008	2009	2010	2011	2011
					

2013



演劇

1994



1994



1995



1995



1995



1995



1996



1996



1997



1997



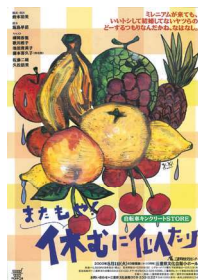
1999



1999



2000



2000



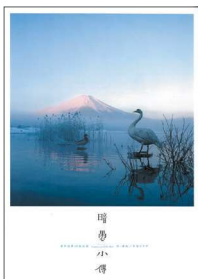
2001



2002



2003



2004



2005



2005



2006



2006



2007



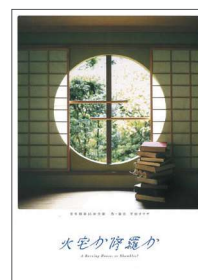
2007



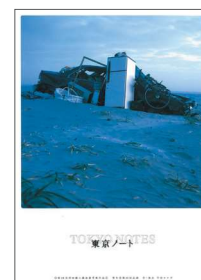
2008



2008



2009



2009



注：西暦は年度表記です。

2009	2010	2010	2011	2011	2011
2011	2011	2012	2012	2012	2012
2012	2013	2013	2013	2013	2013
2013	2013	2013	2014	2014	2014
Mゲキ!!!! セレクション	2010	2010	2010	2011	2011

2012	2012	2012	2012	2012	2013
2013	2013	2014	2014	2014	
トリプル3 演劇ワリカン ネットワーク	2010	2011	2012	ミエユース 演劇ラボ	2013
朗読アウトリーチ M-PAD	2011	2012	2013	三重県演劇塾	1994
1995	1997	1998	2000	2003	2005

注：西暦は年度表記です。

歌舞伎

1994



1995



1996



1997



1998



1999



2000



2001



2002



2003



2004



2005



2006



2007



2008



2009



2010



2011



2012



2013



2014



文楽

1999



2001



2003



2005



2007



2009



2011



2013

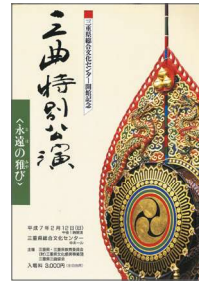


伝統芸能

1994



1994



1995



1996



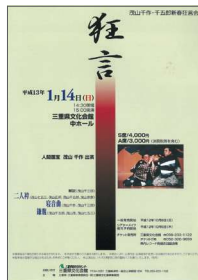
1997



1998



2000



2002



2004



2008



2009



2012



伝統芸能サミット

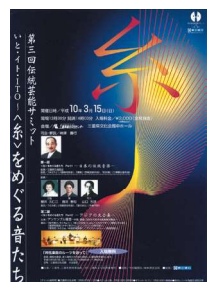
1995



1996



1997



1998



1999



2000



2000



2002



2005



2006



落語

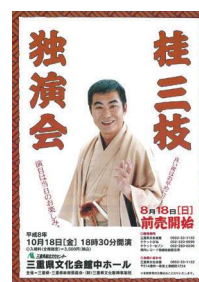
1994



1995



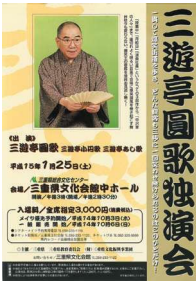
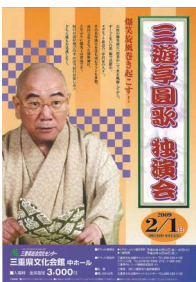
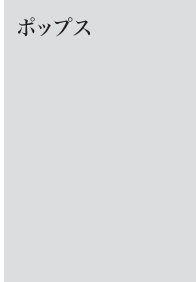
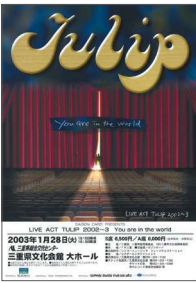
1996



1999



注：西暦は年度表記です。

2000	2001	2002	2003	2004	2005
					
2006	2007	2008	2009	2010	2011
					
2012	2013	2014		1994	1994
					
1994	1994	1995	1995	1996	2000
					
2001	2002	2003	2004	2005	2008
					

2009	2009	2010	2010	2010	2010
					
2011	2013	2013	2013	2014	2014
					
ファミリー	1994	2002	2002	2003	2004
					
2004	2005	2006	2006	2007	2007
					
2008	2008	2009	2010	2010	2011
					

注：西暦は年度表記です。

2012	2013	2013	2014	展示	1994
1995	1995	1996	1996	1997	2002
2002	2010	2010	2013	三重の作家たち展	1994
1997	2000	2004	2008	2012	著名作家展
1997	1998	1999	2000	2002	著名作家展

注：2014年(平成26年度)9月までの事業を掲載しています。



これまでの事業一覧

平成6年度 1994

文化会館

- ・レニングラード・フィル(指揮:マリス・ヤンソンス)
- ・チャイコフスキー記念 東京バレエ団 バレエ『白鳥の湖』
- ・ブロードウェイ・ミュージカル『キャバレー』
- ・NHKふたりのビッグショー
- ・文化庁移動芸術祭歌舞伎公演 歌舞伎(尾上菊五郎・市川左團次ほか)
- ・音楽座ミュージカル『ホーム〜はじめてテレビがきた日〜』
- ・NHK交響楽団
- ・スタニスラフ・ブーニン ピアノ公開レッスン
- ・スタニスラフ・ブーニン ピアノリサイタル
- ・第46回県展
- ・由紀さおり・安田祥子 童謡コンサート
- ・池田満寿夫・佐藤陽子 トーク&リサイタル
- ・東京サンシャインボーイズの『畏』
- ・池田満寿夫版画展
- ・劇団スーパー・エキセントリックシアター『Homeless Home』
- ・桂枝雀・南光落語二人会
- ・小澤征爾指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・花房晴美・真美 ピアノデュオリサイタル
- ・第1回三重の作家たち展
- ・能・狂言(親世流宗家・喜多流宗家)
- ・三曲特別公演『永遠の雅び』
- ・ハウンド・ドッグ・コンサート ROOK ME
- ・清水高師ヴァイオリン・リサイタル
- ・三重県演劇塾第1回公演『團十郎と音二郎』
- ・第1回新日本フィル演奏クリニック
- ・舞台技術者研修会
- ・文化おこし研修会 はじめませんか あなたの町の文化おこし
- ・劇団飛行船公演『ヘンゼルとグレーテル』
- ・堀内孝雄 コンサート

生涯学習センター

- ・みえ県民カレッジ開校
- ・記念講演会「人生80年を楽しく生きる―生涯学習のすすめ―」
講師:岡本包治(川村学園女子大学教授、立教大学名誉教授)
- ・みえ県民カレッジ 教養文化講座「心豊かな生活を求めて」
- ・みえ県民カレッジ 生涯学習展示会(4回)
- ・みえ県民カレッジ 専門講座(教養・健康・ふるさと・三重・国際理解・マルチメディアコース)
- ・生涯学習研修セミナー
- ・社会教育施設等館長学習プログラム研修セミナー

男女共同参画センター(女性センター)

- ・三重県女性センター開館記念フォーラム&パネル展「先駆者達の肖像」
- ・第1回女性フェスティバル「今ひらく、共生の時代(とき)」
- ・グループ自主企画イベント(17グループ)
- ・シネマ&トーク「クレイマー・クレイマー」「ステラ」「フライド・グリーン・トマト」
- ・リーダー養成講座
- ・ハイビジョンファンタジー「真珠物語」
- ・国内交流研修(和歌山県、吹田市)
- ・「相談室」開設

県立図書館

- ・新館開館に向けての組織拡充
- ・新館移転準備のための休館(4月1日から10月6日まで)

- ・新館(津市―身田上津部田)へ移転開始
- ・新館開館「電算システム稼働、郵送貸出サービス開始、対面朗読サービス開始」
- ・企画展 三重の文学者十人展
- ・企画展 近世みえの俳諧
- ・講演会「魔女の宅急便」の作者「魔女」を語る 講師:角野栄子(作家)
- ・講演会「芭蕉を語る 乱歩を語る」 講師:上野洋三(大阪女子大学教授)、川田弥一郎(作家)
- ・国書・漢籍蔵書目録刊行
- ・企画展 三重の同人誌(第1回)詩・小説・評論
- ・講演会「ガイアの心―龍村仁の世界―」 講師:龍村仁(映像作家)

全体

- ・三重県総合文化センター開館(10月7日)
- ・開館記念として、6年度は施設利用料金を1万円以下に設定
- ・第9回国民文化祭主会場(10月22日~30日)
- ・Mニュース発行(年3回)

平成7年度 1995

文化会館

- ・演劇 ギョ・フォウ・シ・シアター『湾岸から遠く離れて』
- ・ミュージカル『阿国』
- ・天童よしみオンステージ
- ・クリスチャン・ツィメルマン ピアノリサイタル
- ・国立モスクワ音楽劇場バレエ『ジゼル』
- ・30th Anniversary 加藤登紀子コンサート
- ・松竹大歌舞伎(五代目中村翫雀 三代目中村扇雀襲名披露)
- ・高校生のための照明技術研修会
- ・喜劇「てにをはエレジー」
- ・桂米朝 一門会
- ・ルーマニア室内管弦楽団
- ・ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団
- ・池内正信&アメリカン・ラグタイム・オーケストラ
- ・イ・ムジチ合奏団
- ・第47回県展
- ・文化講演会<写真の現在・写真の可能性>
- ・読売日本交響楽団(指揮:小泉和裕)
- ・新日本フィルハーモニー交響楽団(指揮:井上道義)
- ・演劇東京巻組「分からない国」
- ・レニングラード国立歌劇場オペラ『ボリス・ゴドノフ』
- ・大阪フィルハーモニー交響楽団(指揮:若杉弘)
- ・ひょうご舞台芸術第10回公演「おやすみデモナー おはようジュリエット」
- ・文化おこし研修会 ~地域産業が創る地域文化~
- ・三重県演劇塾第2回公演 ミュージカル「おかげまいり」
- ・三曲特別公演「永遠の雅び」
- ・第一回伝統芸能サミット「能」『知られざる仮面の内側』
- ・アトリエの巨匠100人展・受賞写真作家 50人展
- ・能の意匠展
- ・第2回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・みえ県民カレッジのつどい
- ・第1回 「こころの風景」 講師:五木寛之(作家)
- ・第2回 「シルクロードと日本文化」 講師:加藤卓男(陶芸家・人間国宝)
- ・みえ県民カレッジ 教養文化講座「21世紀に向けて」
- ・みえ県民カレッジ 専門講座(教養・人間探究・国際理解・マルチメディアコース)

男女共同参画センター(女性センター)

- ・女性センター開館1周年記念フォーラム「1年目の、実り、ともにつどい、ふれあい、1周年」
- ・第2回女性フェスティバル「あなたと共に明日への一歩」
- ・ウィークエンド・シネマ「天使にラブソングを」ほか
- ・男と女のパートナーシップセミナー
- ・いきいき女性セミナー
- ・男性セミナー
- ・地域リーダー養成講座
- ・保育ボランティア養成講座
- ・調査研究支援事業
- ・「法律相談」「健康相談」開設
- ・法律相談公開セミナー
- ・「三重県女性センターだより」創刊

県立図書館

- ・講演会「田村泰次郎の人と文学」 講師:奥野健男(多摩美術大学美術部長、文芸評論家)
- ・企画展 田村泰次郎再発見
- ・企画展 戦争と文学
- ・図書館フェスティバル 講演会「森といのちと文化」
講師:宮脇昭(国際生態学センター研究所長)
- ・企画展 三重の同人誌展(第2回)短歌・俳句・川柳・連句

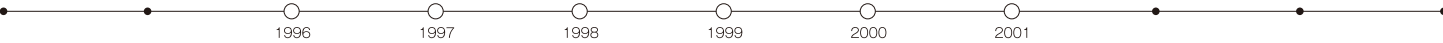
全体

- ・文化会館運営委員会(ホール部門・ギャラリー部門)の設置
- ・県民参加型事業として「サタデー・サンデーコンサート」を開始
- ・Mニュース発行(年4回)

平成8年度 1996

文化会館

- ・バーデン市立劇場オペレッタ『メリー・ウィドー』
- ・ジュリアード音楽院 ゴッサムカルテット
- ・劇団そとばこまち「おまえを殺しちゃうかもしれない」
- ・シャルル・デュトワ指揮 モントリオール交響楽団
- ・世界民族音楽シリーズ 小松原庸子スペイン舞踏団 ~フラメンコその神秘と情熱~
- ・岩城宏之指揮 東京フィルハーモニー交響楽団



- ・松竹花形歌舞伎(中村團藏・中村時蔵ほか)
- ・古澤巖とソルティエ・ダールティスト
- ・カナディアン・プラス
- ・西城秀樹コンサート
- ・桂三枝独演会
- ・エンリケ・クッティエーニとリベルトリオ
- ・ベラルーシ国立ポリショイ・バレエ【ロミオとジュリエット】
- ・藤原真理チェロコンサート
- ・新日本フィルハーモニー交響楽団(指揮:小林研一郎)
- ・自転車キンクルートSTORE「法王庁の避妊法」
- ・アンサンブル・アマデウス
- ・ジョージ・ガーシュイン生誕百年祭世界ツアー オペラ『ボーギーとベス』
- ・大阪フィルハーモニー交響楽団(指揮:外山雄三)
- ・第2回伝統芸能サミット『文案』
- ・日本舞踊特別公演
- ・三重県演劇塾第3回公演 ミュージカル『おかげまいり』
- ・大唐王朝の華―都・長安の女性たち
- ・元永定正展／アートフロンティア`97現代日本の視覚展
- ・第48回県展
- ・第3回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・みえ県民カレッジのつどい
「情報化時代への対処法」 講師:野口悠紀夫(東京大学教授)
- ・三重6大学公開講座`96
ファイナルシンポジウム テーマ「21世紀の大学のあり方について」
- ・みえ県民カレッジ 教養文化講座「心の豊かさをもとめて」
- ・みえ県民カレッジ 専門講座(教養・国際理解・マルチメディアコース)
- ・アトランタオリンピックのハイビジョン放送中継

男女共同参画センター(女性センター)

- ・フレンテフォーラム「男女共生社会の実現をめざして」
- ・第3回女性フェスティバル「はじけるエンパワーメント 追いかけて波 つかまえて夢」
- ・ウィークエンド・シネマ「ワーキング・ガール」ほか
- ・シネマ&トーク「ピクチャープライド」
- ・男と女のパートナーシップセミナー
- ・いきいき女性セミナー
- ・男性セミナー
- ・地域リーダー養成講座
- ・桃の節句トーク
- ・保育ボランティア養成講座
- ・調査研究支援事業
- ・法律相談公開セミナー
- ・健康管理学習会
- ・「情報誌Frente」発行

県立図書館

- ・講演会「戦場に散った詩人 竹内浩三を語る」記念パネルディスカッション
- ・企画展 戦争と文学 2
- ・企画展 竹川竹斎
- ・講演会「竹斎 人と生涯」 講師:岡本勝(愛知教育大学教授)
- ・講演会「射和文庫をめぐる」 講師:高倉一紀(皇學館大学講師)
- ・子供の本フェスティバル 講演会「少年、ことば、川」 講師:北村けんじ(児童文学者)
- ・企画展 来た!見た!書いた!
- ・図書館フェスティバル 講演会「いのちを育む川づくり」
講師:福留脩文(西日本科学技術研究所 代表取締役)
- ・閉架書庫積層化工事完成

全体

- ・宮崎県立芸術劇場と姉妹館提携を締結
- ・総文を新日本フィルの地方拠点ホールとする覚書を締結
- ・文化会館主催事業のチケット販売を、県内の主なレコード店・書店で開始
- ・文化会館主催事業に「学生席」を設置(3階後列)
- ・子どもを対象としたセンター全体事業「ふれあい夏まつり」を開始
- ・クリスマスイベント開催
- ・Mニュース発行(年4回)

平成9年度 1997

文化会館

- ・三重県演劇塾第三回公演 ミュージカル『おかげまいり』
- ・小澤征爾指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 コンサート形式によるオペラ『魔笛』
- ・並河萬里写真展<白鳥の光 薬師寺>
- ・OSK日本歌劇団 レビュー・ミュージカル『上海夜想曲』
- ・チェコ国立ブルノ歌劇場オペラ『トスカ』
- ・世界民族音楽シリーズ アフリカン・マエストロ
- ・国際合唱フェスティバル
- ・秋山和慶指揮 東京交響楽団
- ・「みえ」のピアニストたち〜5台の名器を駆使しての華麗なるコンサート〜
- ・松竹大歌舞伎(中村富十郎)
- ・アート・オブ・プラス・ウィーン
- ・ウィーン市ノイエ・オペラ・ウィーン オペレッタ「ウィーン気質」
- ・劇団俳優座「村岡伊平治伝」
- ・第2回三重の作家たち展
- ・クラウス・ペーター・フロール指揮 ウィーン交響楽団
- ・ヘンシェル弦楽四重奏団
- ・第49回県展
- ・佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・大人計画「生きてるし死んでるし」
- ・レニングラード国立バレエ『白鳥の湖』
- ・尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団
- ・古澤巖とソルティエ・ダールティスト

- ・第3回伝統芸能サミット「いと・イト・ITO〜(糸)をめぐる音たち」
- ・第3回伝統芸能サミット関連展示「邦弦楽器のルーツを辿って」
- ・片山義郎・宮田卓二／三重の彫刻家展
- ・第4回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・三重7大学公開講座`97 三重県立看護大学が新たに参加し7校に
オープニングシンポジウム
テーマ「地域社会と大学の魅力ある関係を求めて」
基調講演「大学と文化」 講師:森毅(京大名誉教授)
- ・みえ県民カレッジ 教養文化講座「心の豊かな明日を拓く」
- ・みえ県民カレッジ 専門講座(教養・国際理解・マルチメディアコース)
- ・東海北陸地区教育メディア利用促進・生涯学習情報提供研究協議会
- ・生涯学習情報システムインターネットに対応
- ・長野オリンピックハイビジョン放送中継

男女共同参画センター(女性センター)

- ・フレンテフォーラム「男女共生社会の実現をめざして」
- ・第4回女性フェスティバル「わたしたちの明日を変えよう! 今行動の時」
- ・ウィークエンド・シネマ「プリティ・リーグ」ほか
- ・親と子のふれあい工房(年4回)
- ・男と女のパートナーシップセミナー
- ・女性学講座
- ・男性セミナー
- ・地域リーダー養成講座
- ・女性起業支援セミナー
- ・働く女性のためのキャリアアップセミナー
- ・働くことをめざす女性のためのセミナー
- ・女性のネットワークングセミナー
- ・女性センター講座修了生ステップアップセミナー
- ・女性の政策・方針決定の場への参画支援セミナー(ドイツ海外研修ほか)
- ・調査研究支援事業「この指とまれ」
- ・法律相談公開セミナー
- ・健康相談公開セミナー

県立図書館

- ・講演会「三人の作家について」 講師:清水信(文芸評論家)
- ・企画展 しなやかな作家たち〜今井貞吉・瀬田栄之助・浅井栄泉〜
- ・企画展 斎藤緑雨と明治文壇
- ・講演会「斎藤緑雨の文学」 講師:十川信介(学習院大学教授)
- ・図書館フェスティバル 講演会「子どもの心に学ぶ」 講師:鹿島和夫(太陽の子保育園長)
- ・企画展 岡本聴雨と津の文化

全体

- ・施設利用料金を改定(消費税率改定に伴う値上げ)
- ・宮崎県立芸術劇場との姉妹提携事業を実施「M2文化サミット」(会場／宮崎県)
- ・新日本フィルハーモニー交響楽団と関西拠点ホール契約を締結
- ・ふれあい夏まつり開催
- ・クリスマスイベント開催
- ・Mニュース発行(年3回)

平成10年度 1998

文化会館

- ・レオン・フライシャー指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・舞台創造講習会(以降、毎年開催)
- ・イーストマン・ウィンド・アンサンブル
- ・キエフ・バレエ【ドン・キホーテ】
- ・松竹大歌舞伎(坂東彦三郎・沢村藤十郎ほか)
- ・ブロードウェイ・ミュージカル「蜘蛛女のキス」
- ・バーデン市立劇場 オペレッタ「ヴェニス一夜」
- ・三重県演劇塾第四回公演 ミュージカルタッチ『おかげまいり』
- ・弦楽四重奏団 クアルテット・ラヴェル
- ・徳永二男 伊藤恵 デュオリサイタル
- ・ホルスト・シュタイン指揮 バンベルク交響楽団
- ・世界民族音楽シリーズ アルプスの音楽 白銀の輝き
- ・三重県出身演奏家シリーズ 伊藤隆之ピアノ・リサイタル
- ・レニングラード国立歌劇場オペラ「椿姫」
- ・第50回県展
- ・ゲルト・アルブレヒト指揮 読売日本交響楽団
- ・NHK交響楽団メンバーと日本のトップアーティスト「名曲の旅」
- ・三重音楽発信Vol.1 オペラ「蝶々夫人」
- ・ク・ナウカ「天守物語」
- ・能・狂言
- ・小澤征爾指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・第四回伝統芸能サミット 地の管・天の管
- ・嶋谷自然・奥山芳泉と三重の日本画家展
- ・第5回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・三重7大学公開セミナー 〜アカデミアみえ`98〜
ファイナルイベント
「心豊かな人生へのアクセス〜乱世 世紀の間(はざま)に生きる〜」
講師:筑紫哲也(ジャーナリスト)
- ・みえ県民カレッジ ライフアップコース(教養・生活の知恵セミナー)
- ・みえ県民カレッジ マルチメディアコース
- ・地域情報ボランティア育成事業(10回)
- ・地域情報リーダー育成事業(4回)

男女共同参画センター(女性センター)

- ・開館5周年・来場者500万人記念事業
フレンテフォーラム「男女共生社会の実現をめざして」

- ・第5回女性フェスティバル「創ろう新しい時代(とき)」
- ・市民活動・ボランティア学習講座
- ・親と子のふれあい事業 夫婦で子育て支援事業
- ・女性学講座
- ・男性コミュニケーションセミナー
- ・“オジサン”の生活講座
- ・地域リーダー養成講座
- ・女性起業支援セミナー
- ・働く女性のためのキャリアアップセミナー
- ・働くことをめざす女性のためのセミナー
- ・女性のネットワークングセミナー
- ・女性の政策・方針決定の場への参画支援セミナー（デンマーク・ドイツ海外研修ほか）
- ・調査研究支援事業
- ・法律相談公開セミナー
- ・健康相談公開セミナー
- ・「人間関係」講座
- ・ホームページ開設（「インターネットカレッジ」スタート）

県立図書館

- ・講演会「子どもの文学に何をこめるか」 講師：北村けんじ（児童文学作家）
- ・企画展 戦後・三重の児童文学
- ・企画展 磯部東流・長常とその周辺
- ・講演会「近世中・後期 伊勢の俳諧」 講師：岡本勝（愛知教育大学教授）
- ・電算システム更新、三重県図書館情報ネットワーク（MILAI）稼働
- ・講演会「橋本鶏二・人と作品」 講師：松岡悠風（三重俳句協会会長）
- ・企画展 橋本鶏二・俳句の世界

全体

- ・三重県総合文化センター開館5周年・来館者500万人記念事業の実施
- ・ふれあい夏まつり'98開催
- ・冬の子ども祭り'98開催
- ・文化会館友の会組織「シアターメイツ」発足
- ・三重県総合文化センターホームページを開設
- ・Mニュース発行（年4回）

平成11年度 1999

文化会館

- ・ヘルベルト・ブロムシュテット指揮 ライプツヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団
- ・世界民族音楽シリーズ シンテシス マケドニア旧ユーゴスラビア共和国
- ・河南省雑技団～三重県友好公演～
- ・井上道義指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・宝くじ特別公演 欲望という名の電車
- ・松竹大歌舞伎（十五代目 片岡仁左衛門襲名披露）
- ・人形浄瑠璃 文楽
- ・エリアフ・インバル指揮 東京都交響楽団
- ・ソフィア・プリステン&ミラ・ゲオルギエヴァ 名曲の花束
- ・第51回県展
- ・松山バレエ団「くるみ割り人形」
- ・及川浩治ピアノリサイタル ～シヨパンの旅～
- ・ブラハ・オペレッタ劇場「オペレッタ『こもり』」
- ・新春寄席 桂歌丸・三遊亭楽太郎 二人会
- ・三重音楽発信Vol.2「カルミナ・プラーナ」
- ・古澤巖&東儀秀樹「午後の汀」
- ・第五回伝統芸能サミット「舞踏のこころ～振（しぐさ）の表情～」
- ・三重県演劇塾・伊集院静 講演会
- ・手塚幸紀指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・足代義郎と三重の美術50年展
- ・第6回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・三重7大学公開セミナー'99
- ・オープニングシンポジウム テーマ「世紀の間（はざま）から見えるもの」
- ・基調講演「21世紀型日本社会を考える」
- ・講師：本間正明（大阪大学副学長・大学院経済学研究科教授）
- ・みえ県民カレッジ ライフアップコース（教養・三重まなびいすとセミナー）
- ・みえ県民カレッジ マルチメディアコース
- ・地域指導者養成セミナー（PTA等指導者、女性指導者）
- ・地域情報人材育成事業（情報ボランティア育成）
- ・生涯学習システムネットワーク整備事業（ホームページデザイナー新、インターネット環境の整備）

男女共同参画センター（女性センター）

- ・フレンテフォーラム みえの男女（ひと）2000 「共に輝き地域で奏でるパートナーシップ」
- ・第6回女性フェスティバル「21世紀への挑戦 ～今、私たちにできること～」
- ・地域に広がる女性センター事業
- ・地域リーダーステップアップセミナー
- ・男性の楽しい生活科・基礎科目－
- ・男性の家庭科－必須科目－
- ・結婚・出産・育児のために退職した方のビジネス講座
- ・女性の起業応援セミナー
- ・施設活用事業「のぞいてみよう女性センター事業」
- ・啓発事業（男女共同参画に関する講演会等）
- ・女性の政策・方針決定の場への参画支援セミナー（イギリス・ドイツ海外研修ほか）
- ・調査研究支援事業
- ・法律相談公開セミナー
- ・女性のための性とかからの相談公開セミナー
- ・女性のための性とかからの学習会
- ・自分のための自己発見講座
- ・「プチフレンテ」発行

県立図書館

- ・企画展 横光利一・革新の軌跡
- ・講演会「横光利一の文学－再評価をめぐる－」
- ・講師：濱川勝彦（奈良女子大学名誉教授・神戸女子大学教授）
- ・企画展 土井賢牙と津藩の学芸

全体

- ・夏休みキッズカーニバル'99開催
- ・Mニュース発行（年4回）

平成12年度 2000

文化会館

- ・干趣会がお届けする ウィーン少年合唱団
- ・オルケスタ・ティピカ東京
- ・ブラハ・オペレッタ劇場「マイ・フェア・レディ」
- ・自転車キンクリートSTORE 『またもや!休むに似たり』
- ・山下一史指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・松竹大歌舞伎（市川團十郎・中村芝翫）
- ・高橋真梨子コンサート
- ・イングリッシュ・コンサート トレヴァー・ピノック指揮『マタイ受難曲』
- ・ハンガリー国立歌劇場オペラ『蝶々夫人』
- ・メキシコ音楽 VIVA MEXICO
- ・清水高師 ヴァイオリン・リサイタル
- ・劇団希望舞台「おぼあちゃん」
- ・小澤征爾指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・茂山千作・千五郎 新春狂言会
- ・三重県出身演奏家シリーズ 佐々木宏子 ピアノリサイタル
- ・レニングラード国立バレエ「眠りの森の美女」
- ・21世紀に飛翔たく日本の演奏家シリーズ 梯剛之 ピアノリサイタル
- ・第六回伝統芸能サミット「エンターテイメント」『楽』
- ・桂文珍独演会
- ・向山佳絵子&福田進一 魅惑のデュオ
- ・足代義郎と三重の美術50年展
- ・第7回新日本フィル演奏クリニック
- ・第52回県展
- ・三重音楽発信Vol.3 響宴21～ piano Piano piano ～
- ・第3回三重の作家たち展2001

生涯学習センター

- ・みえ県民カレッジのついで
- ・第12回全国生涯学習フェスティバル参加事業「日本の心・茶のこころ」
- ・講師：千宗室（裏千家家元）
- ・「ピラミッドミステリー」を語る 講師：吉村作治（早稲田大学教授）
- ・三重7大学公開セミナー2000
- ・オープニングシンポジウム テーマ「どうなる、三重の環境・食・教育」
- ・基調講演「子どもたちをめぐる危機と教育改革の課題」
- ・講師：佐藤学（東京大学教育学部教授）
- ・みえ県民カレッジ ライフアップコース（教養・三重まなびいすとセミナー）
- ・地域指導者養成セミナー（PTA等指導者、女性指導者）
- ・こども放送局
- ・まなびいフロアー（3回）

男女共同参画センター（女性センター）

- ・フレンテフォーラム みえの男女（ひと）2001 「共に輝き地域が活きるパートナーシップ」
- ・いきいき子育て交流事業
- ・新春さわやか討論会
- ・日本女性会議・プレ事業（真珠の首飾り公演）
- ・地域に広がる女性センター事業
- ・男女共同参画支援セミナー
- ・男性の家庭科
- ・女性の起業応援セミナー
- ・調査研究支援事業
- ・女性のための性とかからの考える公開セミナー
- ・女性のための性とかからの学習会
- ・「女性のための自己尊重・自己主張トレーニング」開始
- ・DV（ドメスティック・バイオレンス）についての実態調査

県立図書館

- ・講演会「絵本・ことばのよろこび」 講師：松居直（福音館書店相談役）
- ・特別展 館蔵資料展 近世三重の旅
- ・特別展 三重・戦後詩の出発と展開

全体

- ・貸館業務の一元化（施設利用サービス室の設置）
- ・こどもフェスティバル2000開催
- ・Mニュース発行（年4回）

平成13年度 2001

文化会館

- ・大友直人指揮 東京交響楽団
- ・オペラ「魔笛」レクチャー・コンサート
- ・宝塚歌劇星組公演「風と共に去りぬ」
- ・チェコ国立ブルノ歌劇場オペラ『魔笛』
- ・21世紀に飛翔たく日本の演奏家シリーズ 長原幸太ヴァイオリン・リサイタル
- ・2001三重ノリ祭
- ・少林寺武術隊
- ・パンキエーリ・シンガーズ
- ・青年団「冒険王」
- ・青少年コンサートシリーズ第1弾 新日本フィルが贈る『アメリカン・ソング・ブック』（指揮：キース・ロックハート）

- ・第10回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・みえ県民カレッジのつどい
NHK放送局共催 瀬戸内寂聴講演会「切に生きる」講師:瀬戸内寂聴
- ・三重7大学公開セミナー2003
オープニング基調講演「食で世界を健康に～日本食の改善と国際貢献～」
講師:家森幸男(京都大学名誉教授・WHO循環器疾患予防国際共同研究センター長)
- ・みえ生涯学習ネットワーク交流会 出会う!つながる!三重のまなび
講演会「感性を磨く県政」など 講師:野呂昭彦(三重県知事)
- ・IT基礎技能講習事業(ITパソコン講習会、ITリーダー養成講座)
- ・「楽楽歌舞伎塾」講師:小山観翁さん(松竹顧問、カブキキャスター)
(「楽楽シリーズ」第1回目)

男女共同参画センター

- ・平成15年度男女共同参画フォーラムinみえ
～ひとりひとりのチャレンジ! 支える、つながる、みえの男女(ひと)～
- ・男女共同参画強調月間、*ff*(フォルティッシモ)
- ・市川房枝/パネル展、映画上映
- ・男性講座(一般コース、専門コース)
- ・地域の子育てリーダー養成講座
- ・働きがいのある職場づくりスクール(共催:三重県生活部勤労福祉チーム)
- ・企業向け研修プログラム「数字・キーワードで見る男女共同参画」作成
- ・女性のための自己尊重・自己主張トレーニング(ダイジェスト版地域5ヶ所開催)
- ・女性の性とからだを考えるグループ学習
- ・私を語る場OR
- ・「企画・運営サポーター」開始
- ・「ウェルカムセミナー」開始

県立図書館

- ・絵本コンサート「あきやまただし絵本コンサート」 演技者:あきやまただし(絵本作家)
- ・企画展「三重の食文化―食材から考える―」展
- ・企画展「田村泰次郎文庫の魅力」展
- ・講演会「翻訳小説の読み方」 講師:金原瑞人(法政大学教授、翻訳家)
- ・世界のリアルフリー絵本展

全体

- ・会議室等の貸館予約受付期間を拡大
- ・公共交通機関利用促進エコキャンペーンを実施
- ・子ども対象のセンター全体事業の内容を、体験・楽習型に一新
県内教育施設とも連携、M祭としてスタート
- ・子ども対象のセンター全体事業の一環として、恐竜等の骨格標本
(三重県立博物館所蔵資料)を展示
- ・冬のイルミネーション開催
- ・Mニュース発行(年6回)

平成16年度 2004

文化会館

- ・女子十二楽坊日本公演2004「奇跡」
- ・秋吉敏子 ジャズピアノ・コンサート
- ・第1回三重県戯曲塾リーディング公演「夢六夜」
- ・グランプリ・コンサート2004 ジュピター・トリオ
- ・おかあさんといっしょ ぐーちょコランタンがやってきた!
- ・東京佼成ウインドオーケストラ
- ・ミュージアム・コンサート 中村幸代ピアノ・コンサート
- ・スタニスラフ・ブーニン・ピアノリサイタル
- ・スタニスラフ・ブーニン ピアノ公開レッスン
- ・家族みんなで楽しむコンサートシリーズ第4弾 工藤重典フルート・コンサート
- ・ミゲル・アンヘル・フラメンコ舞踊団
- ・中国河南省雑技団 日本友好公演
- ・ミラノ・スカル弦楽合奏団
- ・本物の舞台芸術体験事業 群馬交響楽団(尾鷲)
- ・公共ホール演劇製作ネットワーク事業「ハロー、グッバイ」
- ・世界民族音楽シリーズ 中央アジア草原の響き
- ・松竹大歌舞伎(二代目市川魁春襲名披露)
- ・第4回三重の代表作家たち展
- ・ハンガリー国立歌劇場オペラ「リゴレット」
- ・フレリー・ゲルギエフ指揮 ウィーン・フィル・ハーモニー管弦楽団
- ・ウェルナー・ヒンク&遠山慶子デュオ・リサイタル
- ・劇団四季ミュージカル「ジーズ・クライスト＝スーパースター」(エルサレム・バージョン)
- ・オペラ「フィガロの結婚」レクチャーコンサート
- ・小澤征爾指揮新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・ニューイヤー・コンサート2005 ウィンパ・ワルツ・オーケストラ
- ・月享八方・桂きん枝二人会
- ・家族みんなで楽しむコンサートシリーズ第5弾 トロンボーン・カルテット ジパンゴ
- ・レニングラード国立バレエ「ロミオとジュリエット」
- ・音楽のおくりもの(未就学児入場可能コンサート)
- ・三重音楽発信Vol.5 フィガロの結婚(2回)
- ・茂山狂言会 三重公演
- ・青少年コンサートシリーズ第4弾 新日本フィルハーモニー交響楽団(指揮:小松長生)
- ・第10回みえ音楽コンクール
- ・第56回県展
- ・第11回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・みえ県民カレッジのつどい
「木霊が歌う楽器”コカリナ”～黒坂黒太郎がたどった発見と感動の旅～」
出演:黒坂黒太郎、矢口周美、福沢達郎
- ・みえアカデミックセミナー2004
オープニング「ナノテクが開く新しい世界～100万分の1ミリの世界～」
講師:川合知二(大阪大学産業科学研究所所長)

- ・みえ7大学公開セミナーに短期大学・高等専門学校も加わり14校に
みえアカデミックセミナーとして再スタート
- ・みえ生涯学習ネットワーク交流会
講演会「ことばの心・ゆとりの心」
講師:加賀美幸子(アナウンサー、千葉市女性センター名誉館長)
- ・あなたのまちの学習情報誌「いきいき生涯&ゆうゆう学習」第1号発行
- ・市町村連携講座(尾鷲、津、久居)
- ・ボランティア講師によるはじめてのパソコン講習
- ・三重県生涯学習センター運営協議会発足
- ・まなびいずとセミナー「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」
- ・「引窓」、中村歌右衛門家の人々の解説」
講師:葛西聖司(NHKエグゼクティブアナウンサー)

男女共同参画センター

- ・男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと)2004～
- ・日本まんなか共和国男女共同参画サミット ～2004三重～
- ・男女共同参画強調月間、*ff*(フォルティッシモ)
フレンデまつり(開館10周年記念パネル展、映画上映)
- ・男性講座(一般コース、専門コース)
- ・地域の子育てリーダー養成講座
- ・共催事業 朗読舞台「ひまわり」
- ・自己尊重・自己主張トレーニング
- ・mini自己主張トレーニング
- ・自分と向きあう講座
- ・もっと知りたいWCR
- ・自分で守ろう!性とからだ
- ・「マイカップの集い」「フレンテーク」開始
- ・調査研究「市町村向け講座開催マニュアル」作成
- ・調査研究「女性史作成検討委員会」開催

県立図書館

- ・土日祝日の開館時間を延長
- ・朗読会「言の葉の味わい」 語り:速水奨(声優)
- ・講演会「子供の心に届くことばを―精神科医からの提案―」
講師:香山リカ(精神科医、帝塚山学院大学教授)
- ・電算システム更新

全体

- ・三重県総合文化センター開館10周年
- ・指定管理者制度による第一期管理・運営開始(10/1～)
- ・利用料金の値下げ、割引プラン、広場単独の貸出を開始
- ・利用料金の支払い方法を増やし、支払期限を延長
- ・「バックステージツアー」(劇場)及び「バックヤードツアー」(図書館)を、小学生の社会見学プログラムとして開始
- ・M祭! 2004開催
- ・子ども対象のセンター全体事業の一環として、昆虫標本
(三重県立博物館等所蔵資料)を展示
- ・冬のイルミネーション開催
- ・Mニュース発行(年6回)

平成17年度 2005

文化会館

- ・第2回三重県戯曲塾リーディング公演「空ノオト」
- ・家族みんなで楽しむコンサートシリーズ第6弾 二村英仁ヴァイオリン・コンサート
- ・第九回伝統芸能サミット「波」
- ・ウィーン・セレナーデ2005
- ・おかあさんといっしょ ぐーちょコランタンがやってきた!
- ・パーシー・フェイス オーケストラ
- ・スパニッシュ・ギター・デュオ「デュオ・アストル」
- ・オスノビルド・ベリンジェリ楽団 エル・タンゴ2005
- ・40th Anniversary 加藤登紀子コンサート
- ・西村由紀江ミュージアム・コンサート
- ・本物の舞台芸術体験事業・札幌交響楽団(海山)
- ・松竹大歌舞伎(十一代目市川海老蔵襲名披露)
- ・イッセー尾形のとまらない生活スペシャル2005in三重
- ・オペラ「オテロ」レクチャー・コンサート
- ・クリスティアン・アルミンク指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・イッセー尾形とフゾーの人々
- ・三重県出身演奏家シリーズ 坪井智子箏コンサート
- ・東京ノレ団「眠れる森の美女」
- ・世界民族音楽シリーズ AFRICA!魂の鼓動
- ・グランプリ・コンサート2005 ベネヴィッツ・カルテット
- ・ズデネク・マカル指揮 チェコ・フィルハーモニー交響楽団
- ・宝塚歌劇雪組公演
- ・ソフィア国立歌劇場オペラ「オテロ」
- ・10人のミラクル・トランベッター
- ・桂ざこば 桂南光 二人会
- ・三重県演劇塾第7回公演 新釈三重の民話「月下綺譚」
- ・鶴吉敏子&ルー・タバキン スーパーカルテット
- ・人形浄瑠璃 文楽
- ・青少年コンサートシリーズ第8弾 新日本フィルハーモニー交響楽団(指揮:梅田敏明)
- ・第11回みえ音楽コンクール
- ・第57回県展
- ・第12回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・みえ県民カレッジのつどい
「アイとアユムの5年間～チンパンジー 親と子の愛の軌跡～」
出演:松沢哲郎(京都大学霊長類研究所 思考言語分野教授・理学博士)
- ・みえアカデミックセミナー2005
オープニング「世界一受けたい授業～おもしろ日本語～」

- 講師:金田一秀穂(杏林大学外国語学部教授)
- ファイナルセミナー「生涯学習とボランティア」
- 講師:白石克己(佛教大学教育学部教授)
- アカデミック展開始
- ・みえ生涯学習ネットワーク交流会
- 講演会「さあ 陽気にゆこう」講師:高石ともや(フォークシンガー)
- ・まなびいすとセミナー「井村コーチ シンクロの世界を語る～愛・絆・挑戦～」
- 講師:井村雅代(アテネオリンピック・シンクロナイズスイミング日本代表ヘッドコーチ 井村シンクロクラブ代表)
- ・まなびいすとセミナー「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」
- 「市川家の歴史や芸について」講師:葛西聖司(NHKエグゼクティブアナウンサー)
- ・市町村連携講座(海山町、美里村、熊野市)
- ・初心者のためのはじめてのパソコン講習
- ・みえすぐネットワーク ―総文から始めよう若者のわー
- ・まなびいすとセミナー「伊勢湾体験航海～実習船「しろちどり」から見る故郷「みえ」～(シリーズ実習船「しろちどり」に乗って体験航海に出よう!第1回)

男女共同参画センター

- ・男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと)2005～
- ・男女共同参画強調月間、**♂**(フォルティッシモ)
- ・フレンデまつり(ワークショップ「ひげのおっさんとあそぼう」、映画上映)
- ・男性講座(一般コース・専門コース)
- ・共催事業 第3回 三重映画フェスティバル
- ・調査研究「三重県の近代以降の女性史」作成
- ・「三重の女性史を作ろう」講座
- ・公開講座「三重県の近現代史と女性」
- ・女性のための自己尊重・自己主張トレーニング
- ・フレンデみえエンバワメントスクールスタート

県立図書館

- ・特別展「丹羽文雄追悼」
- ・企画展「戦後60年 戦後と文学」

全体

- ・センター全体のボランティア組織を構築
- ・貸出主催者向けに看板作成、データ受信・プリントサービス開始
- ・法人協賛会員制度を構築
- ・M祭! 2005開催
- ・子ども対象のセンター全体事業の一環として、クジラの骨格標本等(三重県立博物館所蔵資料)を展示
- ・冬のイルミネーション開催
- ・Mニュース発行(年6回)

平成18年度 2006

文化会館

- ・家族みんなで楽しむコンサートシリーズ第7弾 カール・ライスター クラリネット・コンサート
- ・和谷泰扶ハーモニカ・コンサート
- ・大植英次指揮 ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー
- ・古楽アンサンブル ラ・フォンテーヌ ミュージアム・コンサート
- ・加古隆コンサート2006 熊野古道～神々の道～(津・尾鷲)
- ・世界民族音楽シリーズ インド古典舞踊 バラタナティヤム
- ・本物の舞台芸術体験事業 仙台フィルハーモニー交響楽団(御浜)
- ・おかあさんといっしょ ぐ〜チョコランタンがやってきました!
- ・松竹大歌舞伎(十八代目中村勘三郎襲名披露)
- ・劇団太陽族「だけど、ほらごらん」
- ・小林香織グループ ジャズサクセス ライブ
- ・劇団四季ミュージカル『異国の丘』
- ・ハンガリー国立歌劇場オペラ「トスカ」
- ・三重県中国河南省友好提携20周年記念 フレンドシップコンサート
- ・グランプリ・コンサート2006 ハンネラ・サクソフォン四重奏団
- ・イッセー尾形のとまらない生活2006in三重
- ・第十回伝統芸能サミット 能楽「齋」
- ・小澤征爾指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・ウィーン交響楽団 ヨハン・シュトラウス・アンサンブル
- ・レニングラード国立バレエ『新春特別バレエ～チャイコフスキー三大名場面集～』
- ・三重音楽発信Vol.6 吹奏楽の響宴 ～フランスvsアメリカ～
- ・桂歌丸・三遊亭楽太郎 二人会
- ・音楽のおくりもの(未就学児入場可能コンサート)
- ・ミゲル・アンヘル フラメンコ舞踊団 ～アンダルシア～
- ・青少年コンサートシリーズ第6弾 新日本フィルハーモニー交響楽団(指揮クリスティアン・アルミンク)
- ・第12回みえ音楽コンクール
- ・第58回県展
- ・第13回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・みえ県民カレッジのつどい「すてきな人生を、いきいきと生きるには」
- 講師:日野原重明(聖路加国際病院理事長・同名誉院長)
- ・みえアカデミックセミナー2006
- オープニング「モーツァルトって不思議!～音楽バンザイ!」
- 講師:青島広志(東京芸術大学講師)
- ・みえ生涯学習ネットワーク交流会
- 講演会「よりよき人生のために～生と死とユーモア～」
- 講師:アルフォンス・デーケン(上智大学名誉教授)
- ・まなびいすとセミナー
- 「第6回新体操ワールドカップファイナル～三重大会～の観戦にそなえよう!!」
- 講師:山崎浩子(北京オリンピック強化委員会新体操強化本部長)他
- ・まなびいすとセミナー「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」
- 「十八代目中村勘三郎、勘太郎、七之助親子の魅力について」
- 講師:葛西聖司(NHKエグゼクティブアナウンサー)

- ・レクチャー講座 能「絵馬」と斎宮 講師:観世善正(観世流シテ方)他
- ・まなびいすとセミナー「シネマ歌舞伎 野田版鼠小僧」
- ・市町連携講座(御浜町、明和町、紀宝町)
- ・2006FIFAワールドカップ放送

男女共同参画センター

- ・男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと)2006～
- 男女共同参画の視点で進めるまちづくり
- ・男女共同参画強調月間、**♂**(フォルティッシモ)
- フレンデまつり(渥美雅子さん講演会・女性労働についてのパネル展)
- 「再チャレンジセミナー」公開講座 阿部正浩講演「自分らしく働く」
- 「再チャレンジセミナー」確かな自立のために一ステップ1:内から外への第一歩―「男女雇用機会均等セミナー」
- ・もっと楽しくひびの子育て 映画「ダブルシフトーひびの子育て奮闘記」
- スウェーデンより来日!マリア・エッセー監督講演&シンポジウム
- ・西田小夜子講演会「60からがもおもしろい」
- ・若桑どり講演会「西洋美術史にみる女性像」
- ・フレンデみえエンバワメント・スクール
- 女性のためのパワーアップ・トレーニングコース ～ためらう私からやってみる私へ～
- CRグループ運営コース ～体験で学ぶファシリテート～
- ・「再チャレンジセミナー」確かな自立のために一ステップ2:自信を現実につなげる
- ・男性講座「イベントを創ろう」「お父さんと一緒に腕まくり」
- 「結婚!? ～彼と彼女のいい関係～」
- 「結婚!? ～彼と彼女のいい関係～」PART2これから結婚を考えるための講座
- ・自己尊重・自己主張トレーニング
- ・「三重県内男女共同参画センター間連携会議」開設
- ・「出前フレンデ」スタート
- ・調査研究「三重の女性史を作ろう」調査研究会発足
- ・調査研究「三重の女性史を作ろう」公開講座
- 戦後日本の女性農業者の地位 ―男女平等の生活文化の創造へ―
- 近現代の女性と政治「女は政治に口を出すな」と言われるが…
- ～大正・昭和・平成にかけての日本女性のあゆみ～
- ・M祭! オークラリー やっほー!フレンデ宝島
- ・元永定正さんと絵をかこう!～いろいろな いろいろかたち いろいろじぶん～
- ・第4回三重映画フェスティバル2006 映画「山中常盤」上映とゲストトーク

県立図書館

- ・「NHKはっとイブニングみえ ふるさと発見 郷土の本」のコーナー出演 (1年間)
- ・「三重でくらす くらしコーナー」開設

全体

- ・アートミュージアムショップ開店、売店にて三重県特産品販売開始
- ・広場等に“ていのぼり”掲揚開始
- ・M祭! 2006開催
- ・子ども対象のセンター全体事業の一環として、ゾウの骨格標本等(三重県立博物館所蔵資料)を展示
- ・冬のイルミネーション開催
- ・Mニュース発行(年6回)

平成19年度 2007

文化会館

- ・家族みんなで楽しむコンサートシリーズ第8弾 トロンボーン・カルテット シバノグ
- ・ミュージアム・コンサート 高橋アキ ピアノコンサート
- ・薇薇～ウェイウェイ～ 揚琴コンサート
- ・渡辺貞夫クインテット2007
- ・青少年コンサートシリーズ第7弾 新日本フィルハーモニー交響楽団
- 「オーケストラから飛び出すヒーローたち」(指揮:梅田俊明)
- ・ニーナ・アナニアシヴィリ&グルジア国立バレエ『白鳥の湖』
- ・松竹大歌舞伎(中村吉右衛門ほか)
- ・おかあさんといっしょ ぐ〜チョコランタンがやってきました!
- ・劇団太陽族「越境する蝸牛」
- ・青年団プロジェクト公演「隣にいても一人」
- ・三重県出身演奏家シリーズ 塚本聖子ピアノリサイタル
- ・ブラハ国立歌劇場オペラ「椿姫」
- ・グランプリ・コンサート2007 デュオ・アドモニー
- ・ブロードウェイ ミュージカル・カンパニー
- ・10人のミラクル・トランベッター
- ・コンディ・リ ピアノリサイタル
- ・桂春団治・橘家圓蔵 二人会
- ・ゲルハルト・ボッセ指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・ウェン＝ジン・ヤン チェロリサイタル
- ・人形浄瑠璃 文楽
- ・音楽の絵本(未就学児入場可能コンサート)
- ・ワンコインコンサートvol.1 ピアノ 三輪郁
- ・なにわのコロイグラフィアー しげやん(北村成美)のダンス二本立て!!
- ・第13回県民文化祭
- ・第13回みえ音楽コンクール
- ・第59回県展
- ・第14回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・三重のまなび2007 キックオフ講演会
- 「平家物語にみる昔と今」講師:上原まり(筑前琵琶奏者)
- ・みえアカデミックセミナー2007
- オープニング「冥王星問題～惑星の普遍性を宇宙に探る～」
- 講師:松井孝典(東京大学大学院教授)
- ・三重のまなび2007 日野原重明・三重フォーラム
- 第1部「新しい人生を始めるビジョン～各年代の方々のために～」
- 講師:日野原重明(新老人の会会長)
- 第2部「大塚鎗子コンサート あした見る夢」出演:大塚鎗子 他
- ・みえ生涯学習ネットワーク交流会

2005

2006

2007

2008

2009

- 講演会「今、可能性のとびらが開く時 ～大人から幸せになるう～」講師:残間里江子
- まなびいすとセミナー「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」
「『玉兎』『仮名手本忠臣蔵』『太刀盗人』の解説」
講師:葛西聖司 (NHKエグゼクティブアナウンサー)
- 国立大学法人 東京工業大学提供「教養セミナー」
- ホームベージュ新、講座申込フォーム開発、携帯サイト新設
- 三重のまなび2007 ファイナルセミナー 学びあう ～みえの「生涯学習」～
講演会「みんなで考えよう!これからの『生涯学習社会』」
講師:山本恒夫 (ハル学園大学教授)

男女共同参画センター

- 男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと)2007～
男女共同参画の視点で進めるまちづくり
- 男女共同参画強調月間、*♫*(フォルティッシモ)
「三重県内男女共同参画センター3館連携映画祭」開催
フレンテまつり
フレンテみえ企画・運営サポーター自主企画事業
「どうなっていますか?あなたの市町の男女共同参画～ネットワークづくりに向けて～」
- ファンファーレ事業 三田誠広講演会
輝け!セカンドライフ「明るく自由な第二の青春が始まる」
- フレンテみえエンパワーメント・スクール
女性のための*リ*ワーアップトレーニングコース ～ためらう私からやってみる私へ～
女性のライフサイクル研究コース ～「完璧な母親」という荷をおろすために～
- 男性講座
「セカンドライフ応援塾 ～地域デビューその前に～」
「表現してみよう!伝えたいメッセージ」
～フリーペーパー、ポスター、絵本などを作ってみよう!～
「お父さんと一緒に腕まくり」(地域開催)
- 若者向け講座「結婚!? ～彼と彼女のライフプラン～」
- 市町女性支援事業「市町の男女共同参画の視点で進めるまちづくり事業」
- 再就職準備 (Re-beワーク) セミナー「再就職のドアを開こう」
～チャンスをつかむための「自分さがし」と「自分そだて」～
- 「三重の女性史を作ろう」公開講座 「戦後日本の女性はいどのように動いてきたのか」
- 女性に対する暴力防止セミナー「知っていますか?デートDV」
- 女性のための自己尊重・自己主張トレーニング
- 女性のためのmini自己主張トレーニング
- 第5回三重映画フェスティバル

県立図書館

- 講座「お父さんのための絵本の読み聞かせ教室」講師:三浦伸也(朗天狗)
- 「ビジネスサポート おしごとコーナー」(現在の「ビジネス情報コーナー」)開設
- 新しい県立図書館づくりキックオフイベント
「変わります、県立図書館! 鈴木光司さん講演会」
- 企画展「ねずみ・子年展:ネズミをめぐる「エド」セトラ」
- 企画展「サクラ 桜 さくら ～春に輝く命の花～」
- 講座「起業・開業・独立。はじめの一歩は図書館から!!」
講師:武田秀一(武田経営研究所所長)

全体

- 指定管理者制度による第二期管理・運営開始
- 週末の喫茶、お抹茶処「なごみ」営業開始
- 無線LANサービス開始
- リハーサル室の深夜延長サービス
- 春のこいのぼり掲揚
- M祭! 2007開催
- 冬のイルミネーション開催
- 「お正月あそび再発見」開始
- Mニュース発行(年6回)

平成20年度 2008

文化会館

- 穂吉敏子 ジャズピアノ・コンサート
- 日本文化再発見シリーズ 正倉院の響き!
- おかあさんといっしょ ぐ〜ちょコランタンがやってきた!
- ブルーノ=レオナルド・ゲルバー ピアノリサイタル
- 雅楽公演「日本音楽の源流」
- ミュージアムコンサート 青柳いづみこ ピアノコンサート
- ワンコインコンサートvol.2 サクソフォーン ツカモト・シスターズ
- 青少年コンサートシリーズ第8弾
佐渡裕×HYOGOPACオーケストラwith 及川浩治 “躍動のベートーヴェン”
- 久石譲&新日本フィル・ワールドドリーム・オーケストラ
- 劇団太陽族「往くも還るも」
- 松竹大歌舞伎(松本幸四郎)
- ピギンの一五一会コンサート2008
- 三重県出身演奏家シリーズ 西井葉子 ピアノリサイタル
- ワンコインコンサートvol.3 ヴァイオリン&ヴィオラ 吉鶴洋一
- 青年団「火宅か修羅か」
- ソフィア国立歌劇場オペラ「トゥーランドット」
- 宝塚歌劇 花組公演
- グランプリ・コンサート2008 ドーリック弦楽四重奏団
- ロシア国立ボリショイ・バレエ「ドン・キホーテ」
- 劇団四季ミュージカル「ジーズ・クライスト=スーパースター」(ジャポネスク・バージョン)
- ワンコインコンサートvol.4 ピアノ 天平
- ニューイヤー・コンサート2009 ウィンナー・ワルツ・オーケストラ
- 音楽のおくりもの(未就学児入場可能コンサート)
- 三遊亭園歌 独演会
- 家族みんなで楽しむコンサートシリーズ第9弾 熊本マリ ピアノリサイタル
- 小澤征爾指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- 第5回三重の作家たち展2009
- 第60回みえ県展(巡回展/志摩)
- 第14回県民文化祭

- 第14回みえ音楽コンクール
- 第15回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- 三重のまなび2008 キックオフ講演会
「音楽に出会えた人生」講師:安田祥子(声楽家)
- みえアカデミックセミナー2008
オープニング「あなたの学んだ歴史はもう古い!?～世界一受けたい驚きの日本史～」
講師:河合敦(歴史研究家)
- 四日市看護医療大学が新たに参加し15校に
- みえ生涯学習ネットワーク交流会
「本 書く読む語る交流会 ひろがるつながるブックワールド」
講師:サトシン(おてて絵本普及協会)他
- まなびいすとセミナー「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」
「勧進帳の解説」講師:葛西聖司 (NHKエグゼクティブアナウンサー)
- 子ども向け文化芸術体験プログラム開始
(文化体験パートナーシップ活動推進事業の前身)(9回)
- 映像(文化)で振り返る三重の50年
- 人材育成事業(7回)
- 三重県立図書館、三重県知的所有権センター共催講座(5回)
- 衛生通信セミナー2008
- 三重のまなび2008 ファイナルセミナー
「オール1の落ちこぼれ、教師になる」講師:宮本延春

男女共同参画センター

- 日本まんなか共和国 男女共同参画フォーラム ～2008三重～
つながる ひろがる 新たなステージへ
- 男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと)2008～
男女共同参画の視点で進めるまちづくり
- ファンファーレ事業 男性講座 安藤哲也さん講演会
「*ハ*の極意～仕事も育児も楽しむ生き方」
- 男女共同参画強調月間、*♫*(フォルティッシモ)
「三重県内男女共同参画センター3館&2市連携映画祭2008」
フレンテまつり
- 男女共同参画の視点で進めるまちづくり講座
まちづくり達人塾 ～まちを元気にするプロジェクト～
- フレンテみえエンパワーメント・スクール 女性のライフサイクル研究コース
～「わたしの人生」を取り戻す!～
- 男性講座「くらしの哲学 ～自立したくらしを考える～」
- 有本建男講演会「男女共同参画とイノベーション」(共催:三重大学)
- フレンテみえ企画・運営サポーター自主企画事業
見たい!聞きたい!知りたい!これがネットワークだ
- 三重県生涯学習センター共催事業 メディアを読み解く力
～メディア・リテラシーを学ぶ～
- 再就職準備 (Re-beワーク) セミナー ～再就職を成功させるために～
- 女性に対する暴力防止セミナー地域開催スタート(四日市市)
- 女性のための自己尊重・自己主張トレーニング
- 女性のためのmini自己主張トレーニング
- 女性のチャレンジ・ネル展

県立図書館

- 連続講座「起業・創業・地域づくり… 夢実現への道筋を図書館で描いてみよう」
講師:武田秀一(武田経営研究所所長)
- 企画展「田村泰次郎と戦争」
- 文学サロン「田村泰次郎「青春と戦争」」
講師:清水信(文芸評論家)、河原徳子(近代日本文学研究家)
- 講演会「夢の見つけ方教えたる 子どもたちが輝く舞台をつくる」
講師:今村克彦(元小学校教諭)
- 文学サロン「詩と詩人、農民の錦米次郎」 講師:長谷川龍生(詩人)
- 企画展「農民詩人 錦米次郎」
- 特別展「源氏物語と香り」監修:松栄堂松寿文庫
- 講演会「源氏物語と香り」
講師:畑正高(香老舗 株式会社松栄堂 代表取締役社長)
- 特許情報活用講習会
- 図書館フォーラム「世界地図から、もうひとつの世界が見えてくる」
講師:池上彰(ジャーナリスト)
- 講座「行列のできる店の秘密1 客を知り、己を知る!」
講師:武田秀一(武田経営研究所所長)
- 講座「行列のできる店の秘密2 アイデアの泉を作る!」
講師:高垣和郎(財団法人三重県産業支援センター)

全体

- インターネットでの施設仮予約開始
- レストラン、売店営業者変更にとまなうリニューアルオープン
- 春のこいのぼり掲揚
- M祭! 2008開催
- 冬のイルミネーション開催
- お正月あそび再発見開催
- Mニュース発行(年6回)

平成21年度 2009

文化会館

- ワンコインコンサートvol.5 和太鼓×マリンバ GONNA
- 渡辺貞夫グループ2009
- 家族みんなで楽しむコンサートシリーズ第10弾 奥村愛 ヴァイオリン・コンサート
- ウラディーミル・フェドセーエフ指揮 モスクワ放送交響楽団
- ワンコインコンサートvol.6 ヴァイオリン 松山冨花
- 松任谷由実コンサート
- アンジェラ・アキ コンサート
- 新日本フィルハーモニー交響楽団 親子コンサート オーケストラFAN!!
- 林家たい平・桂 吉弥二人会
- ワンコインコンサートvol.7 チューバ 橋本晋哉

- ・ 吉村七重の世界 ～箏コンサート～
- ・ ワンコインコンサートvol.8 ピアノ 田村緑
- ・ 音楽の絵本 ～吹奏楽～(未就学児入場可能コンサート)
- ・ 松竹大歌舞伎 近松座公演(坂田藤十郎)
- ・ 日本文化再発見シリーズ 正倉院の響きⅡ(生涯学習センター共催)
- ・ 青年団「東京ノート」
- ・ 劇団四季ミュージカル『アンデルセン』
- ・ ワンコインコンサートvol.9 ピアノトリオ トリオZEN
- ・ 公共ホール演劇ネットワーク事業『どくりつ こどもの国』
- ・ ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会2009
- ・ 三重県出身演奏家シリーズ 植村太郎 ヴァイオリン リサイタル
- ・ キエフ・バレエ「くるみ割り人形」
- ・ ウィーン・フィルハーモニー・ピアノトリオ
- ・ グランプリコンサート2009 グリ・ピアノトリオ
- ・ 【未就学】クラシック・バスカース
- ・ カラフル3-レジデンス劇団制作公演 柿喰う客 スポーツ演劇『すこやか息子』
- ・ ウィーン・シユトラウス管弦楽団 ニューイヤー・コンサート2010
- ・ ベルガモドニゼッツィ劇場オペラ『愛の妙薬』
- ・ オペラドン・ジョヴァンニ』ワンコインレクチャーコンサート(津・伊勢・四日市)
- ・ クリストリアン・アルミンク指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・ 田村響 ピアノリサイタル
- ・ 人形淨瑠璃 文楽
- ・ ワンコインコンサートvol.10 チェロ 武澤秀平
- ・ 三重音楽発信Vol.7 オペラドン・ジョヴァンニ』
- ・ 第61回みえ県展(巡回展/志摩・四日市)
- ・ 第15回みえ県民文化祭
- ・ 第15回みえ音楽コンクール
- ・ 第16回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・ 三重のまなび2009 キックオフ講演会
「人間の覚悟」講師:五木寛之(作家)
- ・ みえアカデミックセミナー2009
オープニング「最高に幸せな生き方、死の迎え方
～いのちによりそう在宅緩和ケアから学んだこと～」
講師:内藤いづみ(ふじ内科クリニック院長)
- ・ みえ生涯学習ネットワーク交流会「地域学フェスティバル～子育て、人育て、自分育ち～」
まなびいすとセミナー「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」
「『封印切』『連獅子』の解説 中村翫雀さんとの対談」
講師:葛西聖司(NHKエグゼクティブアナウンサー)
- ・ 子ども向け文化芸術体験プログラム(19回)
- ・ 特別名作映画会「小津映画の世界(東京物語)を観る」
講師:藤田明(全国小津安二郎ネットワーク会長)
- ・ 三重のまなび2009
ファイナルセミナー「旭山動物園名誉園長が語る命のメッセージ」
講師:小菅正夫(旭山動物園名誉園長)

男女共同参画センター

- ・ 男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと)2009～
一人ひとりの働き方、生き方(開館15周年記念事業)
- ・ 男女共同参画強調月間 **JF**(フォルティッシモ)
「三重県内男女共同参画センター3館&5市連携映画祭2009」
フレンデまつり
- ・ ファンファーレ事業 堀田力講演会「60からの生きがい人生」(開館15周年記念事業)
- ・ フレンデみえエンパワーメント・スクール
女性のための「パワーアップトレーニングコース ～ためらう私からやってみる私へ～
・ 男性講座「自立ってなんだろう?! ～みんなで居てはんでも作りながら考えませんか～」
安藤哲也講演会「バビ」を楽しもう! ～笑う父親になるためのファザーリングの極意」
- ・ 男女共同参画の視点で進めるまちづくり講座
まちづくり達人塾 パート2 ～まちのプロデューサーになろう!～
松場登美講演会「足元の宝を見つめて暮らしをデザインする」
- ・ 「三重県男女共同参画センター15年のあゆみ」パネル展(開館15周年記念事業)
- ・ 「三重の女性史」発刊
- ・ フレンデみえ企画・運営サポーター自主企画事業
あなたも参加者から参画者へ～わたしの男女共同参画加速プログラム～
- ・ 三重県生涯学習センター共催事業 子育てハッピーアドバイス
～自己肯定感を育む子育てを考える～
- ・ 再就職準備(Re-beワーク)セミナー
- ・ 女性に対する暴力防止セミナー(伊勢市)
「ストップDV!」殴るだけが暴力じゃない!～今、私たちができること～」
- ・ 女性のための自己尊重・自己主張トレーニング
- ・ 女性のためのmini自己主張トレーニング

県立図書館

- ・ 企画展「芥川賞・直木賞を受賞した三重県ゆかりの文学者たち」
- ・ 講座「仕事・くらしに役立つ初心者のための日経新聞入門講座」
講師:大森敏孝(日経メディアプロモーション株式会社中部本部)
- ・ 企画展「梶井基次郎の面影」
- ・ 文学サロン「梶井基次郎の青春舞台」 講師:河原徳子(近代日本文学研究家)
- ・ 図書館フォーラム「歴史に学び、未来を読む」 講師:加来耕三(歴史家、作家)
- ・ 講座「地頭力(じあたまりよく)って何だ?」
講師:高垣和郎(財団法人三重県産業支援センター)
- ・ 講演会「世界を歩く～ユーラシア・アフリカ大陸の旅～」
講師:中村安希(ノンフィクション作家)
- ・ 講演会「笑って学ぶ 現代の子育てのコツ ～未来の人材を育むために～」
講師:岩城敏之(きっすいわきばふ代表)
- ・ 講座「無理せず起業する方法。」三田泰久(株式会社アーリー・バード代表取締役)

全体

- ・ 三重県総合文化センター開館15周年
- ・ インターネットでのチケット販売システムM's(エムズ) ネット開始
- ・ 春のこいのぼり掲揚

- ・ M祭! 2009開催
- ・ 冬のイルミネーション開催
- ・ お正月あそび再発見開催
- ・ Mニュース発行(年6回)

平成22年度 2010

文化会館

- ・ 宮川彬良&アンサンブル・ベガ
- ・ ジャズマスター 亀古敏子 ジャズピアノ・コンサート
- ・ 中村絃子 デビュー50周年記念 ピアノリサイタル
- ・ 「ナンシー」(演劇公演)
- ・ ワンコインコンサートvol.11 フルーツ 瀬尾和紀
- ・ 2010さだまさしコンサートツアー
- ・ 春風亭小朝 独演会2010
- ・ ワンコインコンサートvol.12 デュオ・サクシアーナwith小森伸二
- ・ 子どものためのシェイクスピア『お気に召すまま』
- ・ 45th Anniversary 加藤登紀子コンサート
- ・ ワンコインコンサートvol.13 ウィンナ・クアルテット
- ・ 松竹大歌舞伎 (中村扇雀・中村橋之助ほか)
- ・ チャイコフスキー記念 東京バレエ団『ジゼル』
- ・ おかあさんといっしょ モノランモノランがやってきた
- ・ 茂木大輔の生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会
- ・ JULIE with THE WILD ONES LIVE 僕たちほとんどいいんじゃあない
- ・ ムノツイル・プラス
- ・ ワンコインコンサートvol.14 ピアノデュオ ドゥオーロ
- ・ トリプル3演劇ワリカネットワーク 劇団太陽族×三重県文化会館『綻刻—ラグタイム—』
- ・ スーピン・メータ指揮 イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団
- ・ グランプリ・コンサート2010 モスクワ・クアルテット
- ・ グレン・ミラー・オーケストラ
- ・ ワンコインコンサートvol.15 テノール 羽山晃生
- ・ 劇団四季ミュージカル『コーラスライン』
- ・ 日本文化再発見シリーズ 正倉院の響きⅢ(生涯学習センター共催)
- ・ ワンコインコンサートvol.16 ミュージカル・スペシャル 井料瑠美&柳瀬大輔
- ・ Mゲキ!!!!!!セレクション 第七劇場 ワールドツアー-日本公演『かもめ』
- ・ 第70回 国際写真サロン
- ・ ニューイヤー・コンサート2011 ウィンナー・ワルツ・オーケストラ
- ・ ワンコインコンサートvol.17 ギター 益田正洋
- ・ 井上陽水 Tour 2011 Powder
- ・ ワンコインコンサートvol.18 クラリネット 澤村康恵
- ・ Mゲキ!!!!!!セレクション ハイバイ『投げられやすい石』
- ・ Mゲキ!!!!!!セレクション 柿喰う客
- ・ 子どもと観る演劇プロジェクト2011「ながぐつをはいたねこ」
- ・ 新日本フィルハーモニー交響楽団 一名曲「運命」永遠の響き～
- ・ ワンコインコンサートvol.19 フォルテピアノ 高田泰治
- ・ とびだせ! みえの絵本作家たち展
- ・ 第16回みえ県民文化祭
- ・ 第16回みえ音楽コンクール
- ・ 第17回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・ 三重のまなび2010 キックオフ講演会
「林隆三と楽しむ宮沢賢治 童話の世界～朗読とトークとピアノの弾き語り～」
講師:林隆三
- ・ みえアカデミックセミナー2010
オープニング「<奈良>と<奈良時代>の魅力～平城遷都1300年によせて～」
講師:西山厚(奈良国立博物館学芸部長)
- ・ みえ生涯学習ネットワーク交流会
「地域「学」フェスティバル～すべての人がつながる未来(これから)への「わ」～」
- ・ 「新老人の会」三重フォーラム 日野原重明先生 白寿記念講演会&コンサート
「人々の心を動かす情熱の源泉」
- ・ まなびいすとセミナー「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」
「『俄獅子』『鳴神』の解説」講師:葛西聖司(NHKエグゼクティブアナウンサー)
- ・ 次世代の文化体験活動推進事業(35回)
- ・ 三重のまなび2010 ファイナルセミナー
「ソウのリーダーは おばあちゃん」講師:あべ弘士(絵本作家)

男女共同参画センター

- ・ 男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと)2010～ 一人ひとりの働き方、生き方
- ・ ファンファーレ事業 香山リカ講演会「自分らしく生きるための処方箋」
- ・ 男女共同参画強調月間 **JF**(フォルティッシモ)
「三重県内男女共同参画連携映画祭2010」
フレンデまつり
- ・ 地域で活躍できる人材養成講座 私の“おもしろ”を発信したい!
～子育て、暮らし、働き方など～
- ・ フレンデみえエンパワーメント・スクール 女性のための「パワーアップ・トレーニングコース
～ためらう私からやってみる私へ～
- ・ 男性講座
「たのsealうれseal大航海 ～バビ」を狙いうちっ!」
「オトコの介護を考える ～老後を自立して迎えるために～」
- ・ 統計で見る三重の男女共同参画
- ・ 母子家庭等の女性のためのパソコン講座
- ・ 母子家庭等の女性のための就労応援フェア
- ・ わたしらしく生きていこう「しごと」をスタートする前に
「わたしらしく」働きたい女性のための就職準備セミナー
- ・ ファザーリングジャパン(東海共催事業) ～絵本で遊ぼう!子どもにウケるお話大作戦～
えほんライブ
- ・ 三重大学共催事業 平成22年度 大学改革シンポジウム
地域の活性化と男女共同参画の推進
- ・ 三重県文化会館×三重県男女共同参画センター×三重県生涯学習センター共催事業
Mゲキ!!!!!!セレクション「投げられやすい石」関連企画
ハイバイ「て」上映会+若井秀人ポスト・パフォーマンス・トーク

2009

2010

2011

2012

- ・女性に対する暴力防止セミナー(名張市)
「ストップDV!」知らないと思えない暴力がある”～あなたの大切な人を守るために」
- ・女性のための自己尊重・自己主張トレーニング

県立図書館

- ・講座「三重を写す」
講師:中里和人(写真家、東京造形大学教授)、松原豊(写真家)、浅田政志(写真家)
- ・子ども読書活動推進セミナー 講師:芽谷千恵子(子どもの本専門店「こびすくらぶ」店主)
- ・特別展「三重県行政文書」文化財指定記念「県庁に残された文書・絵図」
- ・サポーター養成講座「三重の里いなか暮らしのススメ～心豊かな生活を求めて～」
講師:佐藤信弘(月刊「田舎暮らしの本」元編集長)
- ・電算システム更新
- ・県立図書館シンポジウム
「明日の県立図書館～図書館の新しい可能性と全県域へのサービスについて考える～」
講師:植島啓司(宗教人類学者)、石川直樹(写真家)、
坂倉加代子(三重県立図書館協議会副会長)、秋美香(女優)
- ・特別展 放送大学附属図書館所蔵コレクション展
「日本残像 一ちりめん本と古写真が語る幕末・明治」
- ・子どもの読書を考える集い
出演:榊原忠美(劇団クセックACT)、橋村孝子(伊勢市たんぽぽ読書会代表)、
林千智(多気町立勢和図書館司書)、箕浦龍一(四日市市常磐小学校教諭)、
柴田正美(帝塚山大学教授、三重大学名誉教授)
- ・子ども読書活動推進講演会 講師:松居直(児童文学者)
- ・絵本作家による読み聞かせ 講師:コマヤスカン、つつみあれい

全体

- ・指定管理者制度による第三期管理・運営開始
- ・東紀州地域から総合文化センターまでの事業にあわせたバスツアー開始
- ・25歳未満の学生のためのチケット割引サービス開始
- ・春のこいのぼり掲揚
- ・M祭! 2010開催
- ・映画祭「三重そうぶんシネマスクエア」開始
- ・冬のイルミネーション開催
- ・そうぶんのお正月開催
- ・Mニュース発行(年6回)

平成23年度 2011

文化会館

- ・劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」
- ・大友直人指揮新日本フィルハーモニー交響楽団 GW特別公演
- ・宝塚歌劇 雪組公演
- ・ワンコインコンサートvol.20 ヴァイオリン 花井悠希
- ・Mゲキ!!!!セレクション ままごと「わが星」
- ・日本センチュリー交響楽団 三重特別演奏会(指揮:小泉和裕)
- ・ワンコインコンサートvol.21 トロンボーン 加藤直明
- ・和太鼓×マリンバ GONNA 一打楽器の新しい風～
- ・松任谷由実コンサートツアー2011 ROAD SHOW
- ・ワンコインコンサートvol.22 ソプラノデュオ 渡辺史&永崎京子
- ・ワンコインジャズスタイル T.T.D.
- ・子どものためのシェイクスピア「冬物語」
- ・桂文珍 47都道府県全国独演会ツアーVol.3
- ・南河内万歳一座・内藤裕敬プロデュース「七人の部長」
- ・松竹大歌舞伎(片岡仁左衛門ほか)
- ・ブルーノ・レオナルド・ゲルバー ピアノリサイタル
- ・ワンコインコンサートvol.23 ジャズスタイル ブラック・ボトム・プラス・ファンバ
- ・日本文化再発見シリーズ 正倉院の響きⅣ(生涯学習センター共催)
- ・Mゲキ!!!!セレクション 最強の一人芝居フェスティバル「INDEPENDENT」
- ・柿喰う客 女性シェイクスピアシリーズ001『悩殺ハムレット』
- ・三重音楽発信vol.8 リスト生誕200年コンサート
- ・ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会2011
- ・グランプリコンサート2011 アタッカ・カルテット
- ・ワンコインコンサートvol.24 ピアノ 福岡光太郎
- ・朗読アウトリーチ M-PAD2011
- ・音楽の絵本 ～クールプラス～(未就学児入場可能コンサート)
- ・TSUKAMOTO SISTERS BAND
- ・トリプル3演劇フリカネットワーク
劇団ジャブジャブサーキット×三重県文化会館「やみぐも」
- ・第27回三重音楽祭×新日本フィル「第九」
- ・ニューイヤークンサート2012 ウィーン・ヨハンシュトラウス交響楽団
- ・青年団「革命日記」
- ・ポリショイ・バレエ『白鳥の湖』
- ・ワンコインコンサートvol.25 マリンバ 大熊理津子
- ・三重県出身演奏家シリーズ 中井智弥 第／二十五絃箏リサイタル
- ・新日本フィルハーモニー交響楽団(指揮:飯寺泰次郎)
- ・ワンコインコンサートvol.26 ピアノ 中川賢一
- ・人形浄瑠璃 文楽
- ・錦織健プロデュース・オペラ「セビリアの理髪師」
- ・ワンコインコンサートvol.27 エレクトーン 宮崎誠
- ・ミエ・ユース・ウィンド・オーケストラmeets新日本フィル(志摩)
- ・第62回みえ県展(巡回展／東員)
- ・第17回みえ県民文化祭
- ・第17回みえ音楽コンクール
- ・第18回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・三重のまなび2011 キックオフ講演会
「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方～明るく、楽しく、あきらめない～」
講師:辻井いつ子
- ・みえアカデミックセミナー2011
オープニング「江戸から学ぶ持続可能な循環型社会～魅力あふれる庶民生活の知恵～」
講師:田中優子(法政大学社会学部教授)

- ・みえ生涯学習ネットワーク交流会
「地域「学」フェスティバル～きずなでつながる未来(これから)への“わ”～」
- ・まなびいすとセミナー「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」
- ・「雨の五郎」義経千本桜」の解説」講師:葛西聖司(古典芸能解説者)
- ・まなびいすとセミナー「楽楽落語塾～落語の通になろう!!～」
講師:前田憲司(古典芸能解説者)、桂福園治(落語家)
- ・文化体験パートナーシップ活動推進事業(47回)
- ・三重のまなび2011 ファイナルセミナー
「諦めなければ夢はかなう」講師:朝原宣治

男女共同参画センター

- ・男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと)2011～
迷いながらもわたしが決める わたしの働き方・生き方
- ・男女共同参画強調月間、JF(フォルティッシモ)
ファンファーレ事業 上野千鶴子講演会
「人生のターニングポイント～夢と現実の間で
夢みるゆめ子ちゃんと壁ぶちあたり子ちゃん」
「三重県内男女共同参画連携映画祭2011」
フレンデまつり
- ・地域リーダー養成講座「連携・協働による実践プログラムin三重」
- ・フレンデみえエンパワーメント・スクール2011
夢みるゆめ子ちゃんと壁ぶちあたり子ちゃんへ 幸せな人生のつくり方
- ・男性講座
「カッコイイいじいになろう!～ソフリエ資格をとって地域デビュー～」
「イクメン応援フェア2011」
「つくるろババ友 シングルババ友応援カフェ!」
- ・ピンクリボンセミナー「ご存知ですか?「乳がん」のこと」
- ・子育て中のワーク・ライフ・バランスを考えよう
- ・ピンクリボンセミナー&キャンペーン2011 ピンクリボンキャンドルナイト
- ・母子家庭等の女性のためのパソコン講座(フレンデみえ、伊勢市)
- ・母子家庭等の女性のための就職準備セミナー
- ・経済的に困難な状況にある女性を支援するための地域展開研修
- ・三重県文化会館共催事業
二兎社「シングルマザーズ」永井愛ブートーク
二兎社36「シングルマザーズ」
「音楽の絵本 クールプラス」
・女性に対する暴力防止セミナー(松阪市)
「ストップDV!」がまんしくていい!あなたは悪くない”～当事者が望む支援とは～」
- ・女性のための自己尊重・自己主張トレーニング
- ・女性のためのmini自己主張トレーニング
- ・調査研究「統計でみる「三重の男女共同参画」データブック」

県立図書館

- ・三重県立図書館改革実行計画「明日の県立図書館」開始
- ・企画展「竹内浩三展 五月のように 竹内浩三生誕90周年記念」
- ・東北を知ろう、東北へ行こう! 月間 トークライブ1
「3月13日、ぼくは八戸に行った。」「私たちの活動は3月14日から始まった。」
講師:石川直樹(写真家)、地元三重のボランティア
- ・東北を知ろう、東北へ行こう!月間 トークライブ2
「東北を写す～東日本大震災の前と後の光景から～」
講師:浅田政志(写真家)、松原豊(写真家)
- ・子ども読書活動推進講演会「子どもの本の光と影」
講師:清水眞砂子(翻訳家、児童文学研究者)
コマヤスカン原画展「新幹線のたび」
- ・トークライブ「コマヤスカンの旅」 講師:コマヤスカン(絵本作家)
- ・企画展「田村泰次郎ここにあり 田村泰次郎生誕90周年記念」
- ・明日の県立図書館フォーラム2012「3.11から未来へ」
対談:植島啓司(宗教人類学者)、蔵田清一(哲学者)
- ・子どもの読書を考える集い「子どもと本をつなぐ～絵本の楽しみと大切さ～」
講師:時田史郎(元福音館書店絵本編集者)、山下佐千子(尾鷲市立図書館館長)、
西山ひろみ(津市図書館司書)
- ・東北を記憶する月間 シネマトーク「「家」という感覚」
対談:河瀬直美(映画作家)、田中利典(金峯山寺執行長)
- ・講演会「東畑文庫とシュンペーター」
講師:森川茂幸(三重県農業大学校主査)

全体

- ・財団法人から公益財団法人としてスタート
- ・立体駐車場完成(全1,400台)。思いやり駐車場などを整備
- ・インフォメーションで三重県立図書館の本が返却可能に
- ・春のこいのぼり掲揚
- ・M祭! 2011開催
- ・三重そうぶんシネマスクエア2011開催
- ・キャンドル・ナイト開催
- ・そうぶんのお正月開催
- ・東紀州からのイベントにあわせた直行バス「そうぶん」バスツアー」
- ・Mニュース発行(年6回)

平成24年度 2012

文化会館

- ・Mゲキ!!!!セレクション サンプル「自慢の息子」
- ・宮川彬良&アンサンブル・ベガ
- ・東京楽所 雅楽公演
- ・ワンコインコンサートvol.28 ハープ 平野花子
- ・Mゲキ!!!!セレクション 劇団あおきりみかん「湖の白鳥」
- ・ベレス・ブラード楽団
- ・ダニエル・ハーディング指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・ワンコインコンサートvol.29 クラリネット アンナ・ハシモト
- ・春風亭昇太・柳家花緑 二人会
- ・ワンコインコンサートvol.30 ヴァイオリン ビルマン聡平
- ・Mゲキ!!!!セレクション 百景社「J」バーサよりよろしく」

- ・日本センチュリー交響楽団(指揮:沼尻竜典)
- ・東京バレエ団「ドン・キホーテ」
- ・習志野高校吹奏楽部
- ・松竹大歌舞伎(市川右近ほか)
- ・子どものためのシェイクスピア「ヘンリー六世」
- ・TSUKEMEN LIVE 2012
- ・ワンコインコンサートvol.31 ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット
- ・ワンコインコンサートvol.32 ピアノ アンドルリュー・フォン・オーエン
- ・小曽根真 featuring NO NAME HORSES
- ・加古隆カルテット
- ・トリプル3演劇ワリカンネットワーク 南河内万歳一座×三重県文化会館「あらし」
- ・世田バプ×三重文×高知県美×水戸ACM劇場 音楽劇「ファンファーレ」
- ・ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会2012
- ・カメラータ・ザルツブルグ(指揮:オーボエ:ハンスイェルク・シェレンベルガー)
- ・グランプリ・コンサート2012 モーフィン・カルテット
- ・ワンコインコンサートvol.33 トランペット 上田仁
- ・Mゲキ!!!!セレクション ハイバイ「靈感少女ヒドミ」
- ・朗読アウトリーチ M-PAD2012
- ・伊藤恵×青柳晋「第九」ー2台のピアノで綴る深淵なる世界ー
- ・ワンコインコンサートvol.34 フルーツ 新村理々愛
- ・長久手×三重文 THE MISHIMA WORLD2012「三島ル。」
- ・第6回三重の作家たち展2012
- ・日本文化再発見シリーズ 正倉院の響きⅤ(生涯学習センター共催)
- ・ニューイヤークンサート2013 ウィンナー・ワルツ・オーケストラ
- ・ブラハ国立劇場オペラ「フィガロの結婚」
- ・デビュー50周年記念 前橋汀子ヴァイオリン・リサイタル
- ・ワンコインコンサートvol.35 1966カルテット
- ・烏丸ストロークロック関連企画 劇団十月十日「そして畦に曼珠沙華」
- ・コンチェルトⅡ 宮川彬良コンサート
produced by 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・ワンコインコンサートvol.36 チェンバロ&ヴァイオリン デュオ・ターフェル
- ・Mゲキ!!!!セレクション 烏丸ストロークロック「国道、業火、背高泡立草」
- ・ミエ・ユース・ウィンド・オーケストラ meets 新日本フィル(多気)
- ・第63回みえ県展(巡回展／熊野)
- ・第18回みえ県民文化祭
- ・第18回みえ音楽コンクール
- ・第19回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・三重のまなび2012 キックオフ講演会
「輝いて生きる」講師:ジュディ・オング
- ・みえアカデミックセミナー2012
オープニング「科学からのメッセージー持続社会への展望～」
講師:池内了(国立大学法人総合研究大学院大学教授)
- ・みえ生涯学習ネットワーク交流会
「地域「学」フェスティバル～つなごう私たちの想い とどけよう未来の大人たちへ～」
- ・楽楽シリーズ「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」
「『熊谷陣屋』女伊達の解説」講師:葛西聖司(古典芸能解説者)
- ・楽楽シリーズ「楽楽文楽塾～人形編～」
講師:森西真弓(大阪樟蔭女子大学教授)、吉田一輔(人形浄瑠璃文学座 人形)
- ・文化体験パートナーシップ活動推進事業(60回)
- ・見る・知る・巡る「みえミュージアムセミナー
先ドリルセミナー「観覧者の通になる～集客できるミュージアム～」
講師:中村元(水族館プロデューサー)
- ・三重のまなび2012 ファイナルセミナー
「自分という人生の長距離ランナー」講師:増田明美

男女共同参画センター

- ・男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと)2012～
女性の参画拡大に向けて ポジティブアクションの推進
- ・男女共同参画強調月間、JF(フォルティッシモ)
ファンファーレ事業 中国ミホ講演会「働くことは生きること」
「三重県内男女共同参画連携映画祭2012」
フレンテまつり
- ・地域リーダー養成講座「いま、あなたは何をする?
～防災から考える“新しいコミュニティ”づくり」
- ・フレンテみえエンバワメント・スクール
のぼる?とどまる? 働くわたしの処世術
- ・男性講座
「“これから”の企業&ビジネス・パーソンへ
～未来を生き抜くライフスキル×マネジメント・ノウハウ～」
「～これからの人生を“活きる”ために～ 定年*男の『スターティング・ノート』」
- ・女性のためのからだラボ ～たまにはゆっくりと、自分のからだのこと考えてみませんか?～
- ・自分で決める!私の人生 女性のための離婚講座
- ・母子家庭等の女性のための1人コン講座
- ・母子家庭等の女性のための就職準備セミナー(四日市市)
- ・三重県文化会館共催事業
宮川彬良&アンサンブル・ベガ 光の予感★水の未来
二兎社37「こんばんは、父さん」
- ・二兎社「こんばんは、父さん」永井愛アフタートーク
- ・フレンテみえ企画・運営サポーター自主企画事業 追悼ベアテ・シロタ・ゴードンさん
～ベアテさんからの贈りもの～
- ・女性に対する暴力防止セミナー(伊賀市)
「気づいてください～あなたのそばの見えないDV～」
- ・女性のための自己尊重・自己主張トレーニング
- ・女性のためのmini自己主張トレーニング(鳥羽市)
- ・調査研究「『デートDV』に関するアンケート調査報告書」

県立図書館

- ・「医療・健康コーナー」開設
- ・企画展「一万日連続登山に挑んだ男 東浦奈良男写真展」

- ・一万日連続登山に挑んだ男「東浦奈良男写真展」 吉田智彦氏によるトークショー
講師:吉田智彦(写真家、ライター)
- ・特別展「みえミュージアムセミナー 先ドリル展示」
- ・東北を知ろう、東北へ行こう!2
トークライブ「風の電話、森の図書館」 講師:佐々木格(ガーデンデザイナー)
- ・トークライブ「襲名よもやま話」
講演:前田憲司(芸能史研究家)、小川秀幸(三重テレビ放送報道制作部長)
- ・企画展「落語家代々展」
- ・林家染弥 落語&トーク 講師:林家染弥(落語家)
- ・「Library of the Year 2012」優秀賞を受賞
- ・企画展「いのちをつなぐ海のものかたり展」
- ・トークライブ「私が見た、海と生きる人たちのこと」 講師:矢田勝美(イラストレーター)
- ・児童サービス研修公開講座「乳・幼児への図書館サービスー絵本と出会うー」
講師:渡辺順子(東京布の絵本連絡会代表)
- ・子ども読書活動推進講演会「読む力は生きる力」
講師:脇明子(ノートルダム清心女子大学教授、翻訳家、岡山子どもの本の会代表)
- ・図書館連携セミナー「聖地・熊野の不思議を語る」
鼎談:植島啓司(宗教人類学者)、久保咲恵(木花堂店主)、
足田真臣(元和歌山県立新宮高等学校長)
- ・明日の県立図書館フォーラム2013「聖地・伊勢の不思議を語る」
鼎談:植島啓司(宗教人類学者)、櫻井治男(皇學館大学教授)、
中村安希(ノンフィクション作家)
- ・子どもの読書を考える集い
出演:伊藤明美(浦安市立中央図書館司書)、福永智子(椋山女学園大学教授)
- ・企画展「アトリエ エレマン・プレザンの宝もの展」
- ・トークライブ「無垢なアーティストがくれた幸せ」
講師:佐藤肇、佐藤敬子、佐藤よし子(アトリエ エレマン・プレザン)
- ・東北を記憶する月間 クッキング教室「美味しい保存食」
講師:岡田桂織(栄養料理研究家)
- ・仕事講座1「パティシエという仕事」 講師:杉野英実(HIDEMI SUGINOオーナーシェフ)

全体

- ・津商業高等学校との「実働避難訓練」を実施(参加者約1,000名)
- ・春のこいのぼり掲揚
- ・M祭! 2012開催
- ・三重そうぶんシネマスクエア2012開催
- ・そうぶんのお正月開催
- ・東紀州からのイベントにあわせた直行バス「そうぶんバスツアー」
- ・Mニュース発行(年6回)

平成25年度 2013

文化会館

- ・柿喰う客 女体シェイクスピアS003 「発情ジュリアス・シーザー」
- ・ディズニーライブ!「ミッキーのひらけ!魔法の本」
- ・中村絃子ピアノリサイタル
- ・劇団ジャブジャブサーキット「月光カノン」
- ・ワンコインコンサートvol.37 マリンバ 浜まゆみ
- ・ハンガリー国立歌劇場オペラ「椿姫」
- ・ワンコインコンサートvol.38 ピアノ イリヤ・ラシュコフスキー
- ・Mゲキ!!!!セレクション ハイバイ「て」
- ・林家正蔵・桂米團治 二人会
- ・ワンコインコンサートvol.39 ギター パク・キュヒ
- ・Mゲキ!!!!セレクション 劇団野の上「不慮の塔」
- ・こどものためのバレエ「ねむれる森の美女」
- ・子どものためのシェイクスピア「ジュリアス・シーザー」
- ・ワンコインコンサートvol.40 チェロ 海野幹雄
- ・Mゲキ!!!!セレクション スペシャルプレゼンツ □□□(クチロロ)ライブ
- ・松竹大歌舞伎(三代目中村又五郎・四代目中村歌昇襲名披露)
- ・音楽の絵本 吹奏楽
- ・インゴ・メッツマッハー指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・KUDAN Project「真夜中の弥次さん喜多さん」
- ・ワンコインコンサートvol.41 木管五重奏 クインテット「H」
- ・オペラ「いのち」
- ・アリス コンサート
- ・ワンコインコンサートvol.42 ツインバロン 斉藤浩
- ・日本センチュリー交響楽団(指揮:小泉和裕)
- ・グランプリ・コンサート2013 トリオ「国境なきクラシック」
- ・ワンコインコンサートvol.43 サックス四重奏 カルテット・スピリタス
- ・公共ホール演劇ネットワーク事業 柿喰う客「ながづつをはいたねこ」
- ・柿喰う客スペシャルステージ「へんてこレストラン」
- ・朗読アウトリーチ M-PAD2013
- ・ワンコインコンサートvol.44 合唱 チェコ少女合唱団 イトロ
- ・Mゲキ!!!!セレクションiaku vol.4「目録を押さえた」
- ・日本文化再発見シリーズ 正倉院の響きⅥ(生涯学習センター共催)
- ・第73回 国際写真サロン
- ・ニューイヤークンサート2014 新日本フィルハーモニー交響楽団(指揮:広上淳一)
- ・青年団「もう風も吹かない」
- ・ワンコインコンサートvol.45 ハープ 篠崎和子
- ・ワンコインコンサートvol.46 ホルン 丸山勉
- ・ミエ・ユース・演劇ラボ2014 くさきもなびく「山下君が死んだあとのこと」
- ・斉藤和義コンサート
- ・人形浄瑠璃 文楽
- ・宝塚歌劇 雪組公演
- ・GONNA10周年コンサート スピリチュアル FINAL
- ・ミエ・ユース・ウィンド・オーケストラ meets 新日本フィル(御浜)
- ・第64回みえ県展(巡回展／熊野、伊賀)
- ・第19回みえ県民文化祭
- ・第19回みえ音楽コンクール
- ・第20回新日本フィル演奏クリニック

生涯学習センター

- ・三重のまなび2013 キックオフ講演会
「いまを生きるあなたへ」講師:山折哲雄(宗教学者)
- ・みえアカデミックセミナー2013
オープニング「家族の時間～進化的隣人ゴリラに学ぶ～」
講師:山極寿一(京都大学大学院教授)
- ・みえ生涯学習ネットワーク交流会
「地域『学』フェスティバル～来て!見て!楽しんで!感動しよに!!!～」
- ・楽楽シリーズ「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」
「『連獅子』『伊賀越道中双六沼津の段』の解説」講師:葛西聖司(古典芸能解説者)
- ・楽楽シリーズ「楽楽歌舞伎塾～シネマ歌舞伎の楽しみ方～」
「『法界坊』『研辰の討たれ』の解説」講師:葛西聖司(古典芸能解説者)
- ・楽楽シリーズ「楽楽能楽塾～能楽にふれる～」
講師:長田驍(喜多流能楽師)他
- ・みえアートラボ2013
講師:刈信俊文(青山学院大学教授)
- ・文化体験パートナーシップ活動推進事業(71回)
- ・みんなあつまれ!ダンスワールド
- ・見る・知る・巡るみえミュージアムセミナー
先ドリセミナー「美術館が街づくり 文化が人をつくり、街を変える」
講師:袁豊(兵庫県立美術館)
- ・見る・知る・巡るみえミュージアムセミナー 日本橋三重テラスで開催(3回)

男女共同参画センター

- ・男女共同参画フォーラム ～みえの男女(ひと)2013～
未来への提言*働き方はワタシがつくる
特定非営利活動法人 全国女性会館協議会 第57回全国大会in三重
今こそ、Personal is Political
ジフンの問題は社会の問題 これからの私たちに必要な視点とアクション
- ・地域リーダー養成講座「そらぶんが避難所に? ～いまずく考えておきたい災害対策～」
- ・男女共同参画強調月間、*㊦*(フォルティッシモ)
ファンファーレ事業 「三重県女子に告ぐ!雨宮処凛の生き方幸福論」
「三重県内男女共同参画連携映画祭2013」
フレンデまつり
- ・フレンデみえエンバワメント・スクール 働きたい女性のためのパワーアップ・トレーニング
- ・男性講座
「男はつらいよ 働き盛り*男の人生設計!」
「～これからの人生を“活きる”ために～ 定年*男の「スターティング・ノート」ふたたび!」
- ・大人女子のためのkkossori夜話会
「こっそり聞きたいBook café」
「こっそり観たい映画会」[THEダイエツ!]関口祐加監督
「こっそり観たい映画会」『母の道、娘の選択』我謝京子監督
- ・もっと知りたいわたしのカラダin三重
- ・自分で決める私の人生 女性のための離婚講座
- ・フェミニストカウンセリング講座
- ・母子家庭等の女性のためのパソコン講座
- ・二兎社:三重県文化会館共催事業 二兎社38「兄帰る」
- ・二兎社「兄帰る」永井愛アフタートーク
- ・ミネアム開発目標(MDGs):女性がヒカリ輝く社会へ! 一地域が動く・地域を動かすー
- ・フレンデみえ企画運営サポーター自主企画事業
追悼ベアテ・シロタ・ゴードンさん ～ベアテさんからの贈りもの～
映画「私は男女平等を憲法に書いた」上映・学習会(企画・運営サポーター自主企画事業)
- ・女性に対する暴力防止セミナー(桑名市)
「子どもをDVの被害者にも加害者にもしないために」
- ・女性のための自己尊重・自己主張トレーニング
- ・調査研究「男女共同参画の視点からの災害発生時における施設職員対応モデルおよび施設避難所活用モデル」

県立図書館

- ・館内ガイドツアー「図書館探検隊」初開催
- ・企画展 熊野古道伊勢路を歩く展
- ・トークライブ「図絵を片手に伊勢路踏破」
講演:福元ひろこ(文筆家)、駒谷貴(三重県職員)、茶原史子(イラストレーター)、森政之(三重県職員)、植野めぐみ(イラストレーター)
- ・企画展 写真展「リメンバー大槌」
トーク「逆境から発想する町」
対談:淀川(大槌町長)、林春男(京都市防災研究所教授)
- ・企画展 東北を知ろう、東北へ行こう!3 ～図書館から旅する東北～
- ・企画展 松原豊写真展「大槌町 3年目の夏」
- ・トークライブ「大槌町 3年目の夏」講演:松原豊(写真家)
- ・仕事講座「写真家という仕事」講師:藤代冥砂(写真家、小説家)
- ・子どもの読書活動推進講演会「心の扉を開く読書」
講師:増田喜昭(子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主)
- ・夜の図書館演奏会「中井智弥 Eva Alkula Solo Performances」
出演:中井智弥(二十五絃箏奏者)、エヴァ・アルクラ(カンテレ奏者)
- ・世界の子どもの本展講演会「絵本の育て方 一絵本を読むことと作ることー」
講師:いとうひろし(絵本作家)
- ・三重県図書館シンポジウム「還宮という仕組み」
パネリスト:稲葉信子(筑波大学大学院教授)、植島啓司(宗教人類学者)、櫻井治男(皇学館大学教授)、コーディネータ:千種清美(文筆家)
- ・大紀町文化フォーラム「地元のテーマで話し合う」
パネリスト:植島啓司(宗教人類学者)、鎌倉幸子(公益社団法人シャンテ国際ボランティア会広報課長)、福元ひろこ(文筆家)、コーディネータ:前田憲司(企画編集者)
- ・企画展 生誕110周年記念展 小津安二郎物語
- ・トークライブ「小津安二郎の魅力ーその足跡と作品ー」
講演:藤田明(全国小津安二郎ネットワーク会長)
- ・明日の県立図書館フォーラム2014「紀伊山地の世界遺産を考える」
パネリスト:丸鬼家隆(熊野本宮大社宮司)、田中利典(金峯山修験本宗宗務総長)、中上紀(作家)、コーディネータ:植島啓司(宗教人類学者)
- ・南伊勢町文化の集い「わたしたちの町に図書館ができた」
パネリスト:小川山巧(南伊勢町長)、林千智(多気町立勢和図書館司書)、

- 増田喜昭(子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主)、
コーディネータ:前田憲司(企画編集者)
- ・子どもの読書を考える集い「子どもとものごたりのいい関係」
講師:杉山亮(児童書作家、おもちゃ作家)
- ・「ティーンズコーナー」開設
- ・健康講座「よくわかる!子どものアレルギー」
講師:藤澤隆夫(独立行政法人国立病院機構三重病院副院長)

全体

- ・春のこいのぼり掲揚
- ・子ども対象のセンター全体事業M祭を「アート教育」を主軸とした「M祭! 2013 キッズ・アート・フェスティバル」として開催
- ・お絵かきキット「絵かきのこぼく」レンタル開始
- ・三重そらぶんシネマスクエア2013開催
- ・そらぶんのお正月開催
- ・東紀州からのイベントにあわせた直行バス「そらぶんバスツアー」
- ・Mニュース発行(年6回)

平成26年度 2014

文化会館

- ・松任谷由実コンサートツアー2013-2014 POP CLASSICO
- ・ディズニーライブ!「ミッキーのザ・マジックショー」
- ・ワンコインコンサートvol.47 Dual KOTO×KOTO
- ・ダニエル・ハーディング指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・Mグキ!!!!!!セレクション A.C.O.A.「ジョン・シルバー」 百景社「斜陽」 合同公演
- ・ワンコインコンサートvol.48 オーボエ 宮村和宏
- ・サンプリ+青年団「地下室」
- ・ベルリンフィルハーモニー管弦楽団メンバーによる<至高の室内楽>
- ・ワンコインコンサートvol.49 ヴァイオリン&チェロ ヤボルカイ兄弟
- ・アンジェラ・アキ Concert Tour 2014 TAPESTRY OF SONGS
- ・スロヴェニア国立マリボール歌劇場オペラ「カルメン」
- ・ワンコインコンサートvol.50 ピアノ 加羽沢美濃
- ・子どものためのシェイクスピア「ハムレット」
- ・blast プラスト!
- ・桂文枝独演会
- ・ワンコインコンサートvol.51 ハーモニカ 竹内直子&A.ネーベル
- ・Mグキ!!!!!!セレクション F's company「マチタイの風」
- ・東京14世団 創立50周年記念 祝祭ガラ
- ・松竹大歌舞伎(四代目市川猿之助・九代目市川中車襲名披露)
- ・NPO劇研プロデュース「ことばのはじまり」
- ・小曽根真feat. No Name Horses 結成10周年記念ツアー「Road」
- ・ワンコインコンサートvol.52 金管五重奏 BUZZ FIVE

生涯学習センター

- ・三重のまなび2014 キックオフ講演会
「読むこと 書くこと 生きること」講師:浅田次郎(作家)
- ・みえアカデミックセミナー2014
オープニング「日本文学からみえるこの国の未来」
講師:ロバート キャンベル(東京大学大学院教授)
- ・みえ生涯学習ネットワーク交流会「伊賀まなびフェスティバル～にんにん伊賀忍者の巻～」
- ・楽楽シリーズ「楽楽歌舞伎塾～歌舞伎の楽しみ方～」
「『小栗栖の長兵衛』『義経千本桜』の解説」講師:葛西聖司(古典芸能解説者)
- ・文化体験パートナーシップ活動推進事業
- ・みんなあつまれ!ダンスワールド
- ・見る・知る・巡るみえミュージアムセミナー
特別講演「アジアの恐竜時代」講師:東洋一(福井県立恐竜博物館特別館長)

男女共同参画センター

- ・男女共同参画強調月間、*㊦*(フォルティッシモ)
ファンファーレ事業 ダイアモンド★ユカイ トーク&ミニライブ
「飾らない生き方。」～オトコ★フニン★イクジ～
「三重県内男女共同参画連携映画祭2014」
フレンデまつり
- ・地域リーダー養成講座「だれもが安心な避難所のために ～防災・減災と男女共同参画～」
- ・フレンデみえエンバワメント・スクール「女性のためのリーダーシップトレーニング」
- ・男性講座「KAJでスキルUP! 男をアゲる*家事スクール」
- ・フェミニストカウンセリング講座 実践コース
「女性相談・支援のための電話相談員養成講座」
- ・ミネアム開発目標(MDGs):女性がヒカリ輝く社会へ! 一地域が動く・地域を動かすー2
- ・女性のための自己尊重・自己主張トレーニング
- ・「フレンデみえ」元所長 鈴山雅子さん追悼事業(鈴山雅子さん追悼事業実行委員会)

県立図書館

- ・講座「スルメ式読書術、公開します」 話し手:武井シュウジ、山田隆浩(スルメ式)
- ・詩吟ライブ「詩吟女子、三重を吟ずる」
出演:乙津理風(詩吟八段師範、ナチュラル詩吟教室主宰)
- ・企画展「東北を知ろう、東北へ行こう! 4」
- ・トークライブ「すばらしき伊勢うどんの世界」
講演:石原壮一郎(コラムニスト、伊勢うどん大使)、堀哲久(株式会社堀製麺代表取締役社長、三重県製麺協同組合理事長)、松浦信男(万協製菓株式会社代表取締役社長、多気町商工会会長)、青木英雄(つたや店主、伊勢市麺類飲食業組合長)、岡野裕行(皇学館大学文学部国文学科助教)

全体

- ・施設利用料金および附属設備料金の改定(消費税改定に伴う値上げ)
- ・春のこいのぼり掲揚
- ・「M祭! 2014 キッズ・アート・フェスティバル」開催
- ・三重県総合文化センター開館20周年
- ・東紀州からのイベントにあわせた直行バス「そらぶんバスツアー」
- ・Mニュース発行(年6回)予定

注：2014年(平成26年度)9月までの事業を掲載しています。



開館20周年記念誌

非売品 禁無断転載

発行者:公益財団法人 三重県文化振興事業団
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
TEL 059-233-1105 FAX 059-233-1106

平成26年(2014年)10月7日発行



〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
TEL 059-233-1105
<http://www.center-mie.or.jp/>